愛國婦人

毎月二回 五日廿日發行

發行所 東京麴町區(牛ケ淵公園) 愛國婦人發行所
印刷兼發行人 山澤俊夫
編輯人 永持德一

定價 一部金參錢五厘 一ケ月分金七錢 半年分金四拾貳錢 全年無郵送料
廣告料一行六拾錢
本號全部禁轉載

本號は特に世界各國に贈れるを以て多く英字を挿入せり

社論

FRIENDSHIP.

友情（一）

「朋あり、遠方より來る、亦樂しからずや」とは、論語開卷第一の文句なり。友は近所より來るも、樂しきものなり。況んや遠方より來るに於てをや。友は生涯の道連れなり、奬勵者なり、慰安者なり、力なり、我れと共に樂しみ、我れと共に悲しみ、死しての後もなほ、その胸臆に、我れを宿し、はぐくむものなり。友なくして、世を渡るは、荒野を行くが如し。寞寂凄涼堪ふべからず。友ある上は、世に望みあり。我れ、自らを見限るとも、友は我れを見限らざればなり。有ちたきものは、友なるかな。世には、車馬、絹衣、指環、金時計の數々を有し、僕婢の多くを召使ひながら、一人の友をもたざる人あり。憐むべきはこの種の人なり。これらのものは有せずとも、友を有する者は、眞の富者にして、天下の仕合せ者なり。財寶什器は、當てにならず。僕婢も、暇を取らば、それまでの事なり。されど、友は長へに我れを見棄つることなし。友は眞の頼みなり。外に居る今一人の我れなり。

かりに友といふは、眞の友、友なる名を耻しめざる者をいふなり。贋せ物は、世々に絶えず。世人の友といふは、多くは友の贋せものにて、眞の友にあらず。世には、彼れも、親友なり、是れも親友なりとて、多くの親友を有する人あり。されど、誰れにも友なる人は、誰れの友にもあらず。斯る人は、贋金を、眞の貨幣と思へるにて、實は一人の友をも有せざるものなり。一言二言を交はして、直ちに友達顏をする人あれども、斯る人間は、決して頼むに足らず。猥りに握手すること勿れ。右手の太き人間には、用心して交際ふべし。

世には、飲物遊山の友あり。偶然花見の茶屋に落ち合ひて、出來たる友の如きは、花を眺め、杯を交はす間の友にて、席を撤すれば、全く行路の人なり。或は、此方より御馳走を振舞へる間、友達らしくせるもあり。されど食卓の友は、變じ易く、斯る人間には御馳走の續く限りの友にて、それの出來ぬに至らば、見むきもせぬものなり。

總て友に交るに、飲食娯樂の上にて附合、遊山釣魚にて狎合は不宜。……飲食遊山にて狎合候朋友は、其平生は、腕を扼り、肩を拍ち、互に知己知己と稱し居候へ共、無事の時、吾德を補ふに足らず。有事の時、吾危難を救ひくれ候者にてはなし。これは成り丈、屢々出會不致、吾身を嚴重に致し可附候。とは、橋本左内の朋友を擇ぶにつきての戒めなり。金の切れ目は緣の切れ目にて、此方の手前都合よき時のみ、寄り來る人間に、碌なものなし。權門に雀羅を張れる例を聞かず。世は、かうしたものなり。彼等は、始めより、此方を友とは考へ居らずして、たゞ、御馳走、金錢もしくは權勢と交際する氣なれば、これらのもの、我が身を離るれば、見向かざるは當然なり。その時に到りて、彼等の薄情を恨み口惜しがるは、間違にて、始めより分つた話なり。

權威と榮華とは、王者の特權なり。されど、王者にも、また不幸あり。而して、その不幸中の不幸といふべきは、眞の友を有せざることなり。何人も、其前に叩頭せざるはなく、其命に從はざるはなし。されど、眞に、我れと共に喜び、共に泣き、心をうちあかして、互に頼み頼まるゝ人を有せざるは、王者の、多くの王者の運命なり。貧しく、友を有するは、不運にあらず。古ギリシャの哲人、セオフラスタス曰く、「眞の友は、此方の繁昌せる時は、招がざれば來らず。されど、一たび不運に陷れば、招がざるも、來り呉るゝものなり」と。欲しきは、斯る友なるかな。もし斯る人を、友とするを得ば、爾余のものは羨むに足らざるなり。

單に自己の利益を目的として集まれる者に、眞の友なし。彼の犬を見よ。常は、互に驅逐轉倒して睦じく、遊戲し居るも、その間に、一片の肉を投ずれば、親子兄弟もなほ相縛噬して、これを爭ふにあらずや。然れども、こはただ犬の事のみと、笑ふこと勿れ。人間にも、また斯の如き事あり。利己主義の友は互にまた、この醜事を演ずるなり。彼等は、始より眼中に友なく、ただ自己の利益あるのみ。故に機の乘ずべきあらば、その友を喰ふことをも敢てするなり。元來斯る人間と交際するが、心得違ひなれど、止むを得ずんば、狼に對するの用心を以て、交るべし。惡事を以て交る者を、惡黨といふ。惡黨の仲間入りをすべからざるとは勿論なり。されど、我れこそは、惡黨と名乘る者はなし。皆良友と見せて、惡黨に引入るゝにて、近來は、殊に少年の惡黨となれる者少ず。本人及親たる者の、最注意す可所也

THE PATORIOTIC LADIES:

THE HOME FORTNIGHTLY.

NO. 165 CONTENTS FOR NOVEMBER, 1908

Friendship....................J. Shimoda
My Naturalism....................Mrs. Tanahashi
A Problem....................S. Hijikata.
The Soul of Japan....................Baron Takagi
Late Mrs. Nakayama....................Mrs. Izawa
Mrs. William Howard Taft....................T. Nagamochi
Remains of Ancient Rome....................T. Nagamochi
Of Chrysanthemum....................Mrs. Miyake
Miscellaneous....................By Editor

PUBLISHED FROM AIKOKUFUZIN HAKKOJIO,
Kojimachi Tokyo Japan.

"GOLD FISH" By T. Ishikawa.

文部省公設展覽會出品洋畫
石川寅次氏作金魚
愛國婦人第百六拾五號

▽天長節號要目△

各妃殿下御肖像……繪附錄
天長節……社説
天長節の歌……中村秋香
聖詔を捧讀す……佐藤正
菊五首……尾上柴舟
日々の心得……新戸邊稻造
修養の端緒……三輪田眞佐子
暹羅と英國の女學生……安井哲子
臺所中心主義……川瀨ドクトル
きくの花……三宅花圃
幾久の花……梶田半古

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論議

MY NATURALISM.

私の自然主義

愛國婦人會評議員　棚橋絢子

▽強ゆることを好まず

強ひて開かせた花には何うしても趣が乏しいやうて御坐います。また、強ひて開かせやうと致しても、あらぬ季節には花は開くもので御坐いませぬ。ですから何事にまれ、強ひてさせることは、何うも私は好みませぬ。

これが勸め拙と云ふので御坐いませうか、その種類の何たるを問はず、或る程度までは勸めも致しますが、何うも私にはそれ以上強ひることが出來ないので御坐います。ですから、強ひて何事かを勸める必要の御坐いまする時には、或る程度まで、私自身に勸めて置きまして、それ以上は別の勸め上手な方にお願ひ致すやうに致して居るので御坐います。と申すのも、或る程度までは何事も自然にまかせたい、強ひてさせたく無いと云ふのが私の性癖だからだと、斯う思ふて居るので御坐います。

斯のやうに私は何事をも強ひることを好みませぬ故に、家庭に居りましても孫の世話なぞには可成私は手出しを致さぬやうにして居ります。これは、嫁は嫁て、子供を養育する上なぞに於て相當の考へも御坐いまするのに、それを強ゐて私の考のやうに致すことをば私は好みませぬからて御坐います。

▽變化ありて欲し

食事のやうなものに致しましても、私は強ひて、あれが欲し、これが欲しなぞとは決して思ひませぬ。

私は人に強ひることを好みませぬ如く自分に對しても、強ひて斯うして欲し、あゝして欲しと云ふやうな考は寸毫も保つて居りませぬ。ですから、食事のやうなものに致しても、取り分け之れが欲しいと云ふやうなものは無いので御坐いますすが強ひて私の好みを申しませうなれば、一日三度の食事の毎度、食物の種類がかはり、變化があつて欲しいと思ふので御坐います。

と、申しますと、何か食物に贅澤な好嗜でもあるかのやうに思召すかは知りませぬが、食物に變化があつて欲しいと私の申しましたのは、そのやうな贅澤の意味て申したのでは無く、食事のたび毎、お菜は一種て結構――芋や豆腐や、こんにやくのやうなもので結構で御坐いますが、朝の御飯がお豆腐のお汁てあれば晝餐にはお芋の煮つけ、晩食には蒟蒻と先づ斯う云ふやうなことに――その都度變化のあるやうに致て欲しいと、斯う申すので御坐ます。

▽樂天でありたし

強ゆることを好みませぬ爲めか、私は物事に執着し、氣にすることが比較的少ないやうに思ひます。申さば樂天的とでも申しませうか。また樂天的である故てすが、お酒は全然いたゞけませぬのに、此通り肥つて居る方て御坐います。肥る肥らぬは兎に角、何人も常に勉めて執着なく樂天に在りたいと思ひます。

自分の心を或る一方にばかり強ゆることなぞを致しますと、自然と其方に執着致すやうになり、從つて樂天であることは出來ぬと思ひます。幸にも私は、人をも自分をも強ゆることを好みませぬ故か心を樂天にして居ることが出來るのて御坐います。て、私は、これが自然に適へる道てあると斯う信じて居ります。

或人が私の樂天て、無執着であるのを何か佛道にても悟りを開いた結果てあるかのやうに云はれましたが、左樣ては御坐いませぬ――全く、私の性質として強ゆるとを好まないので御座ります。

文部省公殿展覽會出品日本畫（おないどし）　島崎柳塢氏作
"The Same Age" By R. Simasaki.

事實上の疑問（上）

――成女高等女學校紀念會にて――

愛國婦人會東京支部牛込幹事部顧問　土方篠三郎

一個人の資格て、諸姉にお話致して見たいと思ひまするのは、實際實地のお話てあつて虛言てもなければ又私が拵へたことてもありませぬ。其譯はこう云ふことてある。私が田舍へ用かあつて參りましたのは、實は外てもないお嫁さんの話て參りましたので御座います。私の親戚に丁度年頃の人があります。丁度其が私の甥に當りますので、私は伯父なのであります。其親戚から嫁を頼まれて居りましたが、昨年一年かゝつても何うも好いお嫁さんが見つからない。所が漸やく昨今になつて或る人の話てこう云ふ人があると云ふことを聽いた。所がこれも私の緣合になつて居りますので、兩方とも伯父さんてある。兩方とも伯父さんと云ふと、何だか緣談の話をする上に於いて差支るかも知れませぬが、丁度好さゝうな鹽梅てある。

其から段々話を進めて見ました。所が貰ふと申ます方の資産と云ふものは、まあ田舍て先づ中流以上の資產家てある。一方の方も大抵つり合つて居ると云ふやうな譯てあるから、先方へ話をして見ました所が向ふても相當てあると云ふので殊に此方も急いて居る所てありますから其ことを當人に話をすると、どうも當人が何だか頸をかしげて居ります。どう云ふことてあるかと云ふと、娘さんと申しますのは田舍の小學校を卒業して、其以上の學校に這入て學問をしたいと云ふので、東京の或學校へ頼んて入學を致させ幸に昨年其學校を卒業致しました。其學校の名前は申あげませんが、どう云ふ譯て本人が頸をかたげるのかと云ふと其譯がちつとも分らない。其て男子の私が押掛ていつて尋ねるよりも、女は女同士の方がよいと思ひましたから、私の家内をやりました。

左樣致しますると、其挨拶が面白い。『あらまあ伯母さん、百姓なぞはいやよ』と誠に驚き入て仕舞ふ。手がつけられない。まあ、こう云ふことを云ひますと云つて、實に親達も驚きました。一體自分は何んだ。自分もやつぱり百姓の娘てはないか。まあ何が「いやよ」だか、あきれて仕舞ふ。自分には東京へても出て、貴婦人にてもならうと云ふ考へかも知れませんが、親達が何うも家の娘は學校にやつて學問をさしたために、あんなことになつたのてはなからうかと思ふと云つて居ります。實際田舍の純粹の娘が其樣なことを云ひ出したのは、話をする私にもよく分らんので御座います。

其からまだもう一つあります。其はこう云ふ例て御座います。これも矢張り東京の學校を卒業した者の緣談の話てありますが、其は外のことては御座いません。本人が望む所の仕度が畏ろしい仕度て、まあ私の鄉里なぞては大抵な中流以上て東京へ買に參りました所が市ケ谷の甘酒屋へ行けば大抵の仕度は出來ます、まあ中流以上てもあそこへ參りさへすれば田舍むきの仕度は立派に調ひます。所が其娘さんは仕度のことが仲々甘酒屋位ては承知が出來ない。こんな所はいやよと云ふやうな風てまあ大丸か三越か白木屋位てなければいけないと云ふやうな勢てある。これも確かに學問をさせたためてある。其てとう〳〵出來ないて仕舞つた。こんな仕度てはいけない。これてはいけない。あんなものはいやと云ふやうな風て仕舞には、ダイヤモンド入の指環がほしく成つて來た。また、ダイヤモンド入の襟てもほしくなつて來たやうてある。東京へ出して學校へ入れてさうして學問をさせた爲めにさう成つた。私にはこれも疑問てあつて少しも理由が分らんので御座います。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

THE SOUL OF JAPAN.

外國人は日本人より何を堀出さんとするか（六）

海軍々醫總監 男爵 高木兼寛

△宗とは家の示也

宗教は學校あたりては餘り話すことを好まぬけれども、講者の謂ふ宗教は、一般の人の云ふのとは全然違つて居ります。宗といふ此宗の字を諸姉知つて居りますか。支那の文學では家てす。諸姉の入つて居らるゝ家の象である。此下にありまするのは示、即ち家の示といふことで家の定といふ事てある。家の定といふ事は何の爲に必要があるかと云ふと、人間は獨居或は孤居の出來ぬものてある。先づ大體に申せば男女相共に棲まなければならぬ。成年の男子は成年の女子を迎へて一家を成す、即ち一家が是れてあります。かく二人が同居すると云ふことになりますと、どうしても互に守る所が無ければならぬ。互に守る所がなければ夫婦喧嘩といふものが起つて、家といふものは遂に廢滅に歸する。そこて、夫たる者は夫たるの道を守り婦は婦たるの道を守らんければ成らない。

玉成會國畫展覽會出品 鏑木清方氏作

文政時代京都風俗

△講者の宗教

兄弟は仲好くすべしといふ規則はありませぬ。が家を經營して行く上の不文律として左樣なければなりませぬ。かゝる總ての定を明かにして一般の人に示すやうにすることを務めた人が即ち教主といふ者になる。基督も大教主てあります。釋尊も大教主てあります。講者の宗教と云ふものに對する解釋は先づ此やうなものてある。此他いろ〳〵取合せて申上げたいことが種々あるが、それは他日に譲ることゝして、以上述べた種々の點をば、先づ日本人たる吾人は知らねばならぬ。充分に知りぬき研究しぬいて置かねばならぬのてあります。斯う云ふやうな事がらさへ悉しく知つて置けば――斯う云ふやうな千萬の事實をば能く頭の中に入れて置けば、外國人が日本人を研究し、日本人の頭腦から、日本人の精神は何處にあるか、大和魂は何う云ふものかを知らうと、その掘出し方に着手するとしても、更にさしつかへなく充分の説明も出來、外國人が日本人の頭腦より掘出さうとして居る、日本の精神を世界に紹介することが出來ることゝ講者は思ひます。（をはり）

中山刀自の追憶

愛國婦人會評議員 伊澤ちせ子

▽中山（幸子刀自）さんの御永眠になつたは眞實に措しいことで御坐いました。▽中山さんと申せば、先日、古反古さがしを致しましたら、あの歌道奬勵會へ入れと、中山さんのお勸めになつたお手紙が出て參りました。それは、中山さんは何事にも好くお勸め、勵まして下さいました。此歌道奬勵會のことでも……。拙の横好きとても申すので御坐ませうか、私は好く折々歌を作りましては、そのまゝに仕舞つて置くので御坐います。それを中山さんは御存知だものですから、其樣なに埋れ木にして置くよりもと云つては、お勸め下さつたので御坐ましたが、不知、お勸めにも從がはず、唯今から考へますと、誠に心外でなりません。

▽斯う云ふのが、精神が通じ合ふとても申すので御坐いませうか、別して中山さんと御懇意に願つた爲て御坐いますか、斯う云ふ不思議なことが御坐いました。▽忘れも致しませぬ、十月十八日の晩、しかも曉方近くのことで御坐います。不圖眼が覺めますと、「伊澤さん〳〵」と云ふ聲が耳許に聞えました。「はてな」と思つて耳をすまして聞きますと、その聲の主は、確に中山さんなので御坐います。そこて、私は思はず、胸騷ぎが致しました。萬一や、萬一や中山さんのお身の上に……。と、斯う思ひますと、居ても立つても居られないので御坐います。▽て、私は夜が明けるが早いか、中山さんのお宅へ伺つて見ますと、眞實に驚きました……。昨夜、しかも、私が中山さんのお聲を聞いたと思ひました頃、中山さんはおなくなりになつたので。

△これも、唯今になりますと、思ひ出草の一つて御坐いますが、たしか本年六月のことゝ思つて居ります。中山さんのお宅へ伺ひました。この時私は

いつまでも果しなきこそ樂しけれ
たゞ明けくれのあるにまかせて

斯う云ふ歌を作つてお目にかけましたのでした。すると、中山さんも、思はずお笑ひなさりながら、私も身體を大事にして、子息の定年になるまで生き延びませうと、此樣なに仰有いましたが、それも、これも、今から思ひますと眞の夢て御坐いますね。（談話筆記）

▲中山刀自追悼 大久保高明

君の爲め國の爲めにと身を忘れ
つくしゝきみが誠をぞ懷ふ

當代百畫選（十四） 小春 京都 千種掃雲氏筆

△新年號豫告▽

來る新年一月以後は毎月の本紙上、錦上更に花を飾る爲め、左記の方々にお願致して御歌を掲げることに致しました。

△一月號 岩倉公爵夫人
△二月號 三宅花圃女史
△三月號 鍋島侯爵夫人
△四月號 棚橋絢子刀自
△五月號 近衞前公爵夫人
△六月號 下田歌子女史

この他のは追々豫告致します。尚新年號には岩谷小波、齋藤吊花、薄田泣菫、瀬沼夏葉その他數氏の美文、韻文、小説、お伽話を掲げ、新年の御題や、年の名に因める和洋の書をも種々掲げまする。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

MRS. WILLIAM HOWARD TAFT
The new mstressi of the White House

世界烈女傳
新大統領夫人
米國

米國大統領選擧に際し、競爭の甚だしかりしこと本年の如きは殆んど稀に見る所なりとして傳へらる。此激烈なりし競爭界に處して、見事に敵手ブライアンを打ち敗り、大統領に選擧されたるタフト氏は、來春三月現大統領ルーズベルト氏任期盡るを俟つて之を繼承し、新たに大統領の官舎たるホワイト、ハウスに主人公たらんとするなり。

古來偉人の陰には必ずや、偉大なる内助者あるあり。ウヰリアム、ホーワード、タフト氏の陰身に添へる烈婦は、その夫人ヘレン、エルロン、タフトこれなり。

新大統領タフト氏夫人の名の未だ洽く世に知られざるにもかゝはらず、タフト夫人の妻として、女性として、母として將た大政治家の夫人として缺點なき性格を具へたるや、疑ふべからざるが如し。聞く、夫人は非常の讀書家にして、特にジョージ、エリオット女史の道念豊かなる小説を愛讀すと云ふ。以て夫人の性格の一般を窺ひ得べしと信ず。

夫人は又た頗ぶる滑稽の才の富み、其鋭利なること男子も及ばずと云ふ。こは近く各國漫遊に際し、露西亜國民に歡迎されつる砌のことなるが、其國の少壯士官のタフト氏を見しに、極めて質素なる平服を着し帽をも戴かざる無雜作の樣子なるより、氏の前に進み、貴下が大米國の陸軍卿にや、何處に勳章を持たるゝにやと尋ねしに夫人は直ちに傍より進み出て微笑しつゝ

『所夫は心の中に勳章を着けて居ります』と答へたりとぞ。唯だ一語、眞の一語に過ぎざれど、當意即妙の趣あると共に、タフト夫人として相應しき氣象、自ら其裡に含まるゝこそ面白けれ。

MRS. WILLIAM HOWARD TAFT
タフト夫人肖像

タフト夫人既に斯る氣象の烈婦なり。されば良人たるタフト卿も亦た深く其妻を信じ、瑣細の事と雖も夫人に物語るを常とせり。故に總そ良人の利害と仕事に關することにして、夫人の之れを知らざるはなしと云ふ。而も夫人の最も多とすべきは、良人の一種の興味を感じて物語ることは、その何の種類たるを問はず、直ちに專念に其の問題の研究に從事することにして、その研究したる結果、得たる材料と智識とは悉く、更に夫人より所夫に給供するを常とするとぞ。

夫人は身分相應と云ふ範圍内に於て扮裝に工夫を凝すとぞ聞く。また其好嗜の第一は音樂にして、嘗てシンシナチに住ひせし頃には、其地方の音樂の熱心なる世話人なりしが爲め、感謝の驗として音樂會員の送りし贈物は、今もタフト夫人の圖書室の暖爐棚を飾りつゝありと。

タフト夫人は嘗て陸軍卿として其良人の我國を訪れし時、來朝したれば、今も我國貴婦人間には其の風姿を心に刻める方々いと多かるべし。此多才にして氣象堅固なるタフト夫人は近く新たに、大統領夫人として、良夫と共に白家に主人公たるべく、其日より以後、タフト夫人が大政治家の夫人として如何に缺點なき性格を具へたる女性なるかは、華かなる世界の大舞臺に於て、謳歌さるべきなり。

幾久の波奈（下）

三宅花圃

クリサンスマムといふは、黄金なる花といふ意なりとぞ。實にこの花は黄なるぞよき。金蓮日精かゞやくばかりに植並べたるあたり、振袖の行かふによく、寶石眩ゆき洋裝の裳裾にふさひたり。東籬に植ゑてめでにけむ淵明のもとへ重陽の日に王弘道より酒を齎らしぬといふ白衣の使者の意をうたひて　花見つゝ人まつ時は白妙の袖かとのみぞあやまたれける　と紀友則のうたひしはおもしろく人工を加へてさま〴〵につくりなしたるがよし

今の世のほどならずとも、見所多きは野生のにまさりたるべくおぼゆれど、花はいかにも野に咲たるぞよき。油菊の小さくて葉もふさはしきが、霜おく頃に葉のもみぢしたるにいよ〳〵色はえてみゆるもあはれなり。茶席敷の掛花瓶、一輪ざしなど此花の所得てみゆるかたなめり。

白菊もあしからねど、これこそは野に山に、磯に、さながらおきて見むぞよき。やさしき枝のたわ〳〵として、絕壁より簇々と生茂れるを、あはれとて、寛平の御時の菊合に、紀の國の吹上げの濱のうたてる白菊は花かあらぬか波のよするか、と菅原道眞卿のうたひ給へるは、實にさるさまなるべしとぞおぼゆ。上總の大東の鼻には、太平洋の浪にのぞみて風にゆらめく潮菊さながら波の如しと聞し事ありき。初霜の置まどはしたるも狂ひて紫立ちたるも、白菊にはまたおのづからの風情ありてすてがたし。

普通人の野菊といふは嫁菜の花なるべし。うら枯れたる草かくれ、茅かやのもと、一本二本にほひたるはまたなきさまなり。園遊會などものすとて、大神樂の騒ぎ、手品の太皷、耳も聾むばかりなる某豪商の庭園、定紋の縵幕など引めぐらして、群がる人々の、さながら金甕に咲出し花と着かざる袖袂を、ふと見れば、幾千幾百と主人の財ほこる五輪塔のもと、大なる石の奇しき形したるかげなどに、この野菊のつゝましげに咲たるは花のためあはれなれど、かゝる花だにも疎みあへぬ優美なる心をさすがにうれしとみる事も多かり。

紺菊といふは紫色ににほひ出たる類なくめでたし。初元結などよびてめづるに長き世も契りこめつべくおぼゆ。コスモスのなびく下かげに、ほの〴〵みゆるは又なくをかし。

實に秋は草の榮えある時なるかな。其八千種の後にひかへて、更に花なき時までも咲にほふこの菊は、草花の榮と譽を全うしてもとめてたき花なるかな。

御園化粧品目錄

畏き邊りの御料に召させ給ふ
完全無鉛高貴御化粧料
長谷部仲彦氏發明

御料　**御園白粉**

煉製　濃化粧。顏表り用れりおしろい　御園白粉　純白。淡紅色　壜入金二十錢。金三十五錢。金七十五錢　特製金廿五錢。金五十錢。金一圓。金三圓

舞臺用　舞臺化粧用。濃化粧專用固煉おしろい　御園白粉　小器 金四十錢　大器 金七十錢

との粉色　舞臺化粧用。砥の粉代用の肌色固煉おしろい　御園白粉　壜入 金四十錢　硝子器入 金一圓

水製　薄化粧用。純白、淡紅色。水おしろい　御園白粉　壜入 金二十五錢　大壜 金五十錢

粉製　洋風濃薄化粧用及顏なほし用。粉おしろい　御園白粉　純白。淡紅色　紙包金十錢。紙函入金廿錢。壜入金五十錢

美顏料　洋風化粧 白粉下。かくし化粧用ポット付紙函入金五十錢　御園クリーム　下、兼用　小器 金貳拾錢　大器 金五拾錢

濃化粧用　舞臺化粧及素顏濃化粧專用白粉下　御園の蕾　壜入 金十錢

化粧水　あれ性の人に適する化粧水　御園四季の花　壜入 金貳十錢　大壜 金五十錢

化粧水　脂肪質の人に適する化粧水　御園ときは水　壜入 金十五錢　大壜 金五十錢

打白粉　懷中用顏なほし。あせどめ用。はや化粧　御園なてしこ　紙包 金十錢　かくし化粧 金十錢

香油　髮の毛黒く。艶麗わしくなる水油　御園水油　壜入 金三十錢　大壜 金五十錢

薫芳　純粋の花精のみを以て製したるハンカチーフ用　御園香精　壜入 金三圓　別器 金五圓

化粧香水　芳香果精を以て製したる化粧用香水　御園の橘　大壜入 金一圓

殺菌齒磨　長谷部仲彦氏多年の研究に依りて調製したる　御園齒磨　壜入 金二十錢　大器 金五十錢

製造本舗　東京芝　**伊東胡蝶園**

發賣元　小間物化粧品問屋　東京日本橋區橘町四丁目　**丸見屋商店**　〔長〕電話浪花四四八番　振替貯金六五三六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

REMAINS OF ANCIENT ROME

世界繪旅行

（五）

羅馬

（世界の古都）

伊太利は趣味深き國、美しき國である。歷史上深く大なる關係ある國である。フローレンスと云ひ、ヴェニスと云ひ、ネープルスと云ひ、孰れも興味深き歷史に富んだ伊太利の都市であるが、就中羅馬ほど古く且つ興味に富んだ都は、世界中他にあるまいと思ふ。

『羅馬は一日にして建つべからず』との俚言もあつた程なれば、羅馬帝國全盛時代の羅馬市は何んなに繁華であつたらう其頃の羅馬は、伊太利の羅馬ではなくて羅馬の伊太利の如く思はれた。併し現今の羅馬は往昔の羅馬の一部に過ぎぬのである。此裡には昔の羅馬府の一部分も遺つて居る。が、併し往昔さしも榮華を極めた部分も、今は唯だ寂寥たる古跡として遺つて居るのみである。今の羅馬と雖も可なり繁華の場處ではあるが、これが世界文明史上重大の關係ありし古都の名殘かと思ふて見る時には、大分物足らぬ心地がする。

世界の大都會には必ず河がある。羅馬市にも亦有名なタイバー河があつて、市中を流れて居る。この河は羅馬市の便利を謀ると同時に美觀を添へて居る。タイバー河を隔てゝ右にアンゼル城を眺め、左方遙かにセントペーター寺院を望む遠景は、啻に羅馬市中の絶景であるのみならずして、歐米の都會中、これ以上の風光はあるまいと思はれる。

かゝる風光を見るにつけても、いよいよ切に羅馬の歷史上の都市であることが感ぜられる。それは一寺、一城――これ等がすべて名勝だからである。古き都の舊跡だからである。名勝舊跡は今の羅馬の所在にある。この名所舊跡は、今日の羅馬市の生命である。伊太利國の主なる財源である。この名勝舊跡あるが爲めに世界の人が現今でも此羅馬に笻を曳くのである。

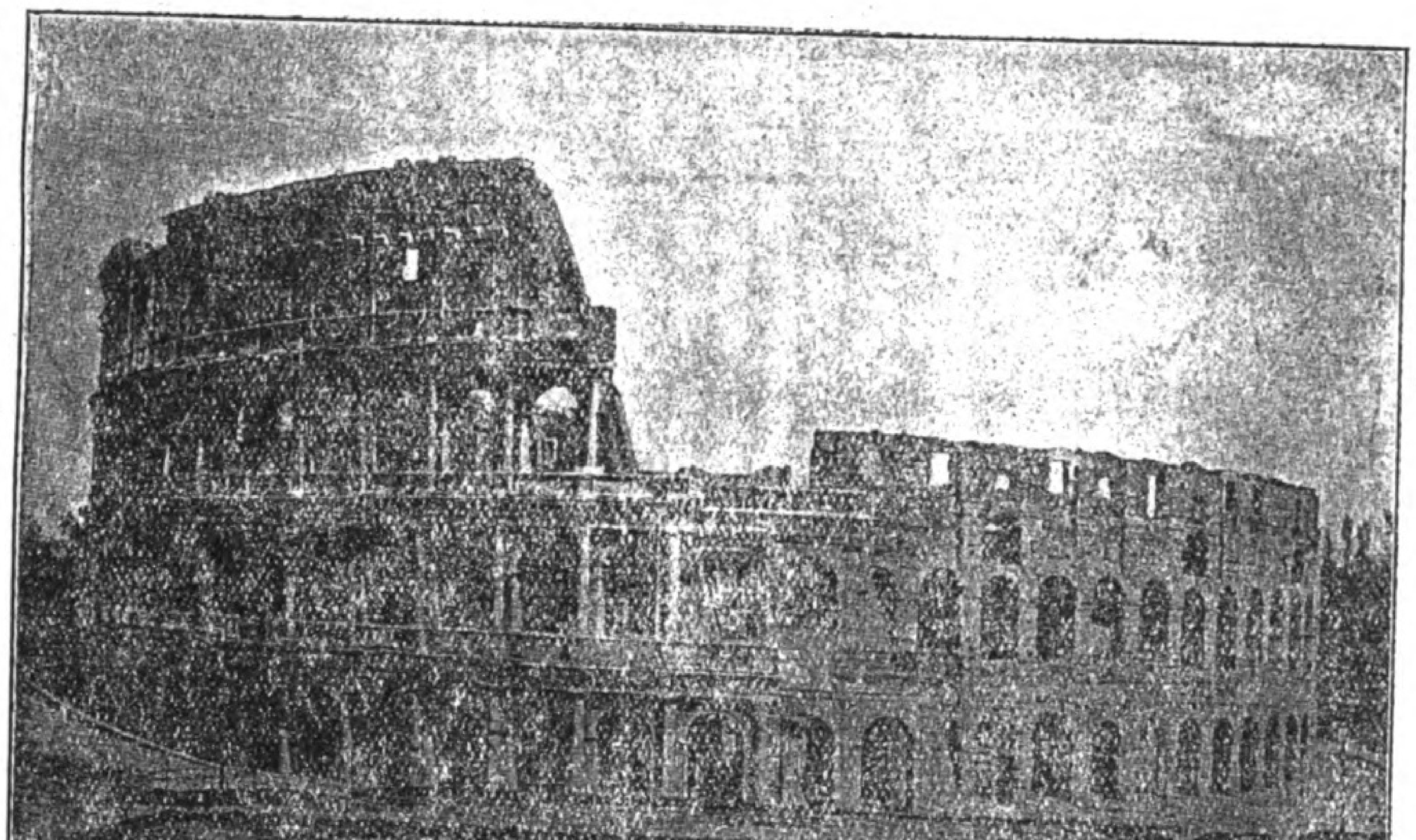
これと同時に市中の家屋の美術的に造られてあるのは羅馬の主なる特色の一である。勿論、米國に見るやうな、雲に聳ゆるやうな大家高樓を羅馬市に見出すことは出來ないが、其構造の美術的なる點に於ては遙かに米國の家屋に優つて居るのみか、家屋の外部までも巧みに種々の裝飾が施され在る。

また、羅馬市に於ける驚くべき特色は羅馬人が山の都を化して水の都たらしめたことである。何故、羅馬を山の都と云ふならば、羅馬市は七丘の上に建てられたとして傳へられて居るからである。知らずに居れば平地に建てられた市のやうに思はれるが、注意すれば七丘の形跡が現在も尚殘つて居る。それは兎に角、羅馬市は既に斯く丘上に建てられてあるからには、地勢上水に富んだ處とは云へぬ。それ故、天然の缺點を人工で補ふ意であつたと見えて、水道工事は餘程古き時より此市に始つて居る。アピア水、アニオ水、ジュリア水、ヴィルゴ水など其主なるものであつて、これ等種々の水源から引かれた水は、七百の貯水地、百餘の噴水となつた。これ羅馬人が山の都を化して水の都たらしめたと云はれる所以である。この水の力で、美術的家屋の建てつらねてある羅馬市の美觀を更に補ふたのであつた。

前段、羅馬は古跡の都であると述べ、また聖ペーター寺院の名も揭げて置いたが、此ペーター寺院は羅馬古跡の一であつて、天主敎本山と云ふべき處、我國の佛敎徒が善光寺參を願ふ如く、天主敎徒は此ペーター參を願ふて居る。附けて云ふが此寺院の建築費は二億三千五百萬フランを要したとのことなれば、如何に其伽藍の宏大なるかゞ察せられやう。

パンテオンも亦た、羅馬で有名なものの一である。パンテオンとは神廟の意味である。さればパンテオンと稱せらるゝもの佛蘭西の巴里にもあれば、希臘のアデンスにもある。いづれも皆同じ性質のもので、名の同じやうに建築法も大抵同じてあるが、獨り羅馬のパンテオンのみは少しく其構造を異にして居る。その詳しきことは此處に述べぬが、本堂の直徑も中央の高さも共に二十四間餘あると云つたら、いかに宏大な堂であるかゞ、略ぼ考へ得られやうと思ふ。

ワテカン宮と云ふのもある。これは羅馬法皇の邸宅で、聖ペーター寺院に接近した宏大な建物である。室の總數千有餘にして、一半は法皇の邸宅であるが、他の一半は博物館であつて、何人も縱覽することが出來る。



現存せるコロシアムの外部　Exterior of Colosseum

羅馬の古跡中大規模を示して居るのはフォラムである。フォラムとは市場の意ださうである。元來、この地は市場にして、人々の集合する地であるから、種々の集會を開く便利もあり、隨つて旅館や商店までも次第に開け、神社や裁判所のやうなものすら建設されて、繁昌を極むる地となつたのである。

北にはラテアリス、西にはカピトル、南にはパラテン、東南にはヴエリアの諸丘がある。而して其間の低地はフォラムの區域である。此地は以前甚しき濕地であつたが、下水工事の完成してから羅馬市中樞要の地域となり、主なる建物の此處を中心として周圍に充滿するに及び、フォラムは昔時の羅馬の中心となつたのである。議事堂や、裁判所も此處に設立されたのであつた。

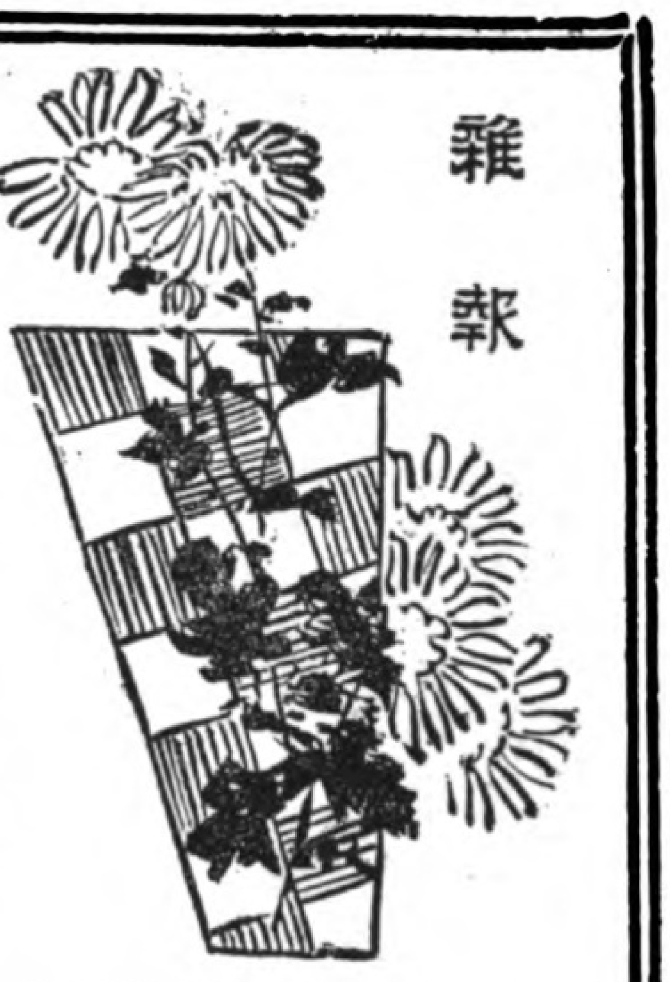
羅馬市に起つた重大の事件の多くは、此フォラムに起つたもので、貴族と庶民との衝突の結果、大殺戮行はれてフォラムの地は一時血の池と化したこともあつた。彼のシセロの雄辯を振ふた議事堂も、シーザーの殺害された處も、皆このフォラムの區域内である。されば羅馬は世界の中心にして、フォラムは羅馬の中心であつた。が、併しながら、今にして見るフォラムの槪觀は一見西洋家屋の燒跡のやうである。往昔は一冊の歷史を綴る程多くの事件の起つたフォラムの地、現今は唯だ榮華の夢の跡たるに過ぎぬ。

フォラムの東にコラシアムと云ふ大劇場がある。劇場とは云ふ條、眞劍勝負を試みた處である。戰爭に慣れた羅馬人は優美な演藝では物足らず、爲めにかゝる慘酷な娛樂をするやうになつたのであらうと思ふ。

コラシアムは圓形の建物であつて、周圍は二百四十間、高さ三十間餘、中央に平地があつて、其處を圍んで幾段にも棧敷風の楷段のあるのは觀覽者の座席である。其廣さ八萬七千人を容るゝに足るとのことである。二千年の昔に時めきしコラシアムも今は殆ど殘壁を止るに過ぎぬのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜録



▽範を示し給ふ　今回擧行の陸海軍大演習行幸に關し夙に近侍の臣僚を始め陸海軍當局者に萬事質素と實用的に設計すべく、行在所、御駐輦所其他に付ては成るべく有合せたる者を利用すべく假令止むを得ず新設すべき場合あるも極めて質素にして奢侈に傾かざるやう深く注意すべしとの思召を傳へられしより宮内官及び陸海軍當局者は聖旨を體し御野立、御立寄の場所の如き皆別に新に設計する事なく有の儘にて御使用相成る事をなり、奈良の行在所を奈良倶樂部(陸軍大演習の爲め)舞子行在所を有栖川宮御別邸(海軍大演習の爲め)と御治定あらせられたるも全く右御趣意より出てたるものなりと承はる　陛下親しく勤儉の範を示し給ふ畏きことどもにこそ

▽御歌會始御題　明治四十二年御歌會始御題は『雪中松』と仰出さる詠進期限は來る一月十日迄にして書式等は左の如し

料紙は檀紙、奉書、杉原紙又は美濃紙を用ふ

詠進は一月十日迄に宮内省御歌所へ差出すべし

但し一人一首に限る

堅詠草　但し五ッ折

裏面書式　某府縣下某國某郡市某町村住　苗字名

官位勳功爵を有する者は苗字の上に記載すべし

注意　料紙は檀紙、奉書を用ひても其大さも奉書程より小なるをよしとす又美濃紙より小なるものは受理せられず

一人の作歌にして變名を用ひ又は他人の名を借りて數首詠進する事を得ず

▽村雲尼公　村雲尼公は去月卅日午前九時新橋驛に着上京されたるが歩揚に出迎へたるは閑院宮、東伏見宮各御名代を始め諸貴婦人、會員等にて非常の盛儀を極めたりと

▽女學界　▲女子大學　の秋季運動會は來る廿一日同校運動場にて擧行、尙同校にては既記の如く愈々來春を以て理想的講義録を發行するさうです▲成女高等女學校　其筋から高等女學校たることを許可された同校理事故水谷直孝氏遺愛の蔵書と寄贈された香奠を以て購ふたる書冊とを加へて水谷文庫と云ふを同校内に設けたさうです又同校は去八日同校内にて第九回紀念會を擧げ土方牛込區長と安井學習院教授との有益なる講話があり、午後からは生徒の對話、活動寫畫、唱歌等がありました、尙又同日宮田新校長と山根前校長との送迎會もありました、同日の講話は本號以後漸次本誌に御紹介致します▲共立女子職業學校　では同じ八日學友會『櫻友會』の秋季大會か開かれ仲々盛況でありました▲大日本女子教育會　第五回總會は去十五日午後一時から神田一つ橋通帝國教育會講堂で開かれ下田主幹開會の辭、つゞいて三宅醫學博士、高島女子大學講師、宮田成女高等女學校長、三輪田女學校教頭、富士川ドクトル、吉田女子高等師範學校教授、安井學習院教授等の有益なる講演がありました。その主なるもの丶一二は本誌次號に御紹介致します。

社告

來む明治四十二年宮中御歌始會の御題

雪中松

と仰出されたるに就き、本誌愛讀の諸氏に限り、特に當發行所にて取纏め、囑托選者の豫選を得て宮中へ差出可申に付、御希望の方は料紙(半紙)へ、住處姓名族籍等を明記の上、十二月十五日限り出詠相成たし。

愛國婦人發行所

▽皮相の文明のみ　去月末歸歐米漫遊より歸朝せる衆議院書記官長林田亀太郎氏先頃歐米流行の服裝につき見聞談を述べたる一節に。歐米に於ては手袋は禮裝のもの丶外は一人として用ゐ居らざる程にてフロツクコート高帽の紳士にても携帶し居るのみにて嵌むる事はせず、日本の如き國にては寒暑に耐へ欠乏を忍び得るやう男子を教育せざるべからず、然るに世には兎角ハイカラなる眞似のみに眼が付き素足は宜しからず手袋を穿めざれば淑女に對し失禮なりなぞ云ふもの多し之れ畢竟皮相のみ、かゝる皮相の文明よりも未だ／＼急務として爲すべきもの多きに扨ても／＼と慨歎せられたるが輕浮の人多き今の世には有難き教とこそ云ふべけれと思ひ特に掲げつ。

▽當今最も歡迎さるゝ球根　春咲かすべき球根類は先頃より既に植付けられつゝある由なるが園藝家に就き當今一般に歡迎さるゝ球根類を取調べしに第一はチユーリツプ、ヒアシンスの二種、次はクロツカス(花サフラン)、第三はスノードロツプ、其他にはアネモネ、レナンキユーラス、ダツフオヂル(喇叭水仙)等なりと云ふ。

△一日に四萬圓　先頃我國に迎へられたる米國艦隊員が横濱のみにて兩換せし金額は廿八萬六十四圓八十錢なりしとの由なるが艦隊員の中には東京其他にて兩換せる分も少しはあるべく之れ等を含算する時は三十萬圓以上にも上るべしとぞ、されば之れを七日の碇泊期間に當ては出る時は一日艦隊員の消費高四萬圓以上に上るべしと信ず、かゝる多額の金額を我國に留土産にせる珍客に對する我國の歡迎費はさるにても如何ばかり巨額なりけむ。

▽文部省主催美術展覧界　同省主催第二回美術展覧會は目下上野公園にて開會中なるが審査の結果受賞者は左の如く確定せりと

△第一部日本畫▲二等賞(名士弔喪)菊地契月(勝乎敗乎)木島櫻谷▲三等賞(月かげ)上村松園(竹經春淺)川北霞峯(青山白雲)小室翠雲(鳴瀧)田中賴章(轉迷開悟)西山翠嶂(おないどし)島崎柳塢(諸神歡呼)都路華香(閑庭)上田萬秋(勿來關)津端道彦(秋郊)山田耕雲(やよひ)榊原蕉園(翠遠)小阪芝田(罰)土田麥僊(まきばのあさぎり)野村露江(秋ばれ夕ざめ)阿部春峰(秋山蒼暮)徳田隣齋(出陣)荒井寛方(驛馬に夏艸)村上華岳(黄昏)川村曼舟(建智門園)尾形月山(寒林暮靄)田近竹村

△第二部西洋畫▲二等賞(熔爐)和田三造(雨後の夕)吉田博▲三等賞(北國の冬)中川八郎(中條君の肖像)フランク、ブレスフオード(曲浦)山本森之助(水のほとり)橋本邦助(少女の肖像)大森安仁子(夏の夜)高村眞夫(晩煙)跡見泰(雌鹿牛島一角)中澤弘光(漁夫の娘)岡吉枝(ものおもひ)石橋和訓(菊)石川寅治(蔵)九里四郎(初冬)三宅克巳

△第三部彫刻▲二等賞(闇)朝倉文夫▲三等賞(閑靜)建畠大夢(寒山子)米原雲海(大葉子)山崎朝雲(春秋の一對)北村四海(文覺)萩原守衛

▽美術界　秋の美術界として上野公園内に開設されて居るのは玉成會と文部省第二回公設展覧會の二つが主なるものであります△公設展覧會受賞者の氏名は別項に掲げ、また出品中の二三は本號に寫眞版にして掲げてあります、△但し本誌に挿したのは本誌の愛讀諸姉の目を樂めやうと云ふのが目的ですから美術賞鑑の眼から見て宜いのを掲げたと云ふ譯ではありません

▽懸賞判じ繪　當選披露△

本誌第百六拾號に發表した懸賞判じ繪は、姉妹方の好評嘖々たる間に、客月卅日を以て締切と致しました解答者は總計千六百卅九名御座いまして、係りの者は一同之が爲に忙殺される許りでしたが、豫期した程の好結果を得なかつたのは、誠に殘念で御座いました。

六ヶ敷かつたのは、六、七、八の三圖て、大抵の方は多く茲で間違はれたやうであります。

而し少し考れば他愛も無い事なので御座いますが、中には又餘り考へ過ぎて、天外より落ちた奇答を寄せられた向も見えました。從つて思案に能はずとても申しませうか。

文部省公設展覧會出品日本畫　荒井寛方氏作　出陣

判じ繪の正解は左の通りで御座います。

(一)見、(二)野、(三)木、(四)輪、(五)兒兒、(六)荷荷根、(七)ん、(八)刀柄、(九)手折桝、之を讀み下しますと次のやうになります。

此の木は此處に二年生へて居ります。

實に容易しい誰にても出來る判じ繪ては御座いませんか。然し皆様考へ過られたので、之の正しい解答を寄せられたのは、左の三名に過ぎませんでした。

長野縣北佐久郡役所内　六川　男

東京京橋月島西河岸通　吉村れん子

東京本所向島中之郷町　小宮　ふさ

其他に斯う云ふのが御座いました。意義も通ひますから、矢張り當選としました。

此の木はこゝに半年はへて居ります、　北海道石狩旭川町六條　片倉　一子

此の木は此處に永年生へて居ります。

神奈川縣高座郡藤澤町　山崎　泰助

神奈川縣高座郡六會村　西山　種吉

神奈川縣高座郡藤澤町　金井みさご

以上の七名を當選者として、お約束通り新刊女鑑論叢を一部宛贈呈いたします。當らなかつた方には、お氣の毒ですけれど、之れに失望なさらずに近々發表の新懸賞て、首尾よく御當選遊ばすやうに切望致します。

圖書倶樂部

●チエホフ傑作集　…　京橋南小田原町　獅子吼書房

チエホフは活々と露西亞の風俗を寫すので有益な作家であります、譯者は十年一日の如く靜かにあせらずに、忠實に露西亞の原文から幾多の佳作を紹介して居らるゝ瀬沼夏葉女史であります。發行所は新體詩人薄田泣菫君の令弟鶴二君の經營にかゝる獅子吼書房であります。譯者、書房並びに原著書の三拍子揃つた此好著述は少からぬ好評を以て迎へらるゝことと信じます。殊に來る新年號に夏葉女史の作を讀まる筈の我が愛讀諸姉に對し此好著を前以て讀み置かれんことを望むので御座います。定價は九十六錢。

●偉人の母……日本橋區本町三丁目　博文館

此書は『偉人は多く其母の感化を受けた結果である』と云ふ金言を、實際に就て示したものですから、苟しくも自分の子供を英雄豪傑にしたいと云ふ希望を持つ母親は、是非一讀を要する本です、實例は歐米各國のあらゆる方面に採られて居りますから、變化があつて面白く讀む事が出來ます。其重なものを擧げて見ますと、羅馬の偉人グラッキ母、小說家スコツトの母、詩人ハイネの母等其他凡て讀むべき文字ばかりで約百八十頁の菊判形、それで定價は金參拾八錢で表裝も氣がきいて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

毛髮用パール

和歌

佐々木信綱選評

天　熊本　竹下かしく

鐘の音は奈落にひゞく心地してゆふかれの村さびしう暮るゝ

評、げに其さびしさ胸の底にしみ入るやうなり。

地　駿河　大井菊江

田も畑もなへてゆたかにみのりけりことしは老か庵やつくらむ

評、そのよろこびさこそと思ひやらる

人　岡山　清水梅子

出て行きし君か舟路やいかならん今日もひれもす秋雨のふる

評、雨けぶる波路を眺めて思ひやれるこゝろやさしくあはれなり

秀逸

枝豆をほしならへたる里川の堤のうへをあきつむれとふ　福島　靏田よし

雁啼くやこゝろ淋しき宵暗に亡きわがつまの遺髮とゞきぬ　京橋　武田鶴子

楓の月にさしいる月をなかめつゝ里の少女の衣うつなり　三河　山内經子

力なき秋の夕日を背にあびて里の翁のわらじ作るよ　東京　柿沼野菊

かへるへき夫まちわびてふけし夜にひとり落葉の音をきくかな　廣島　金原なを子

さやかなる夕日うつりてわかいほに匂ふ紅葉のいろそまされる　横濱　鈴木まつ子

なくむしのこゑもあはれにきこゆなりむかしをしのふ奥津城所　山口　末田竹子

あさきりはさと晴れゆきて岡の邊の紅葉まばゆく日かげさすなり　堺市　金田つるえ

みひとつの秋にあられどこのゆふべこゝろもそらにものおもふな　北海道　五十嵐やす

今日もまた谷の流の音をのみ聞てひれもすくらしけるかな　大分　桂木文子

甲

山かつのかよふこみちにさきみちていろかもたかき白きくのはな　豐橋　みどり

丁と打つ木こりの音に夢さめてすゞろさびしき秋の夕ぐれ　京都　つゆ緒

千代かけて變らぬいろに咲き出てぬ心つくしゝそのゝしらきく　豐橋　平松いと子

朝またき誰か渡らん足跡もさむけに見ゆる橋の上の霜　函館　安藤喜美子

笛吹きて涼む川原の松並木螢流れぬ芒ゆらきて　遠江　園田その子

秋の夜やふりさけ見れば故郷の空にすきゆくかりの一つら　岡山　西村長子

栗の戸をもるゝ月影まちいてゝこゑあはれにもきりぎりすなく　岡山　山崎露子

尼寺の鐘なり人等ちらばりてしら萩ちる[illegible]墓の道　[illegible]　久保石子

百草の花はあとなく枯れたるに霜をしのきてかをる白菊　美作　八木清子

遠近の木の葉も散りて今は早くれゆく秋の偲ばるゝかな　神奈川　足立原とく子

もみちせぬときはの松も色かへぬかゝれる蔦のもみちせしより　東京　林喜久

いつの世にたかことつてし玉章をかけて來つらむ天つかりかれ　山口　末田貞節子

白露をむすふあしたの菊の花一しほきよきかをりはなてり　伊勢　田村明世子

我のみにあらぬうれしき今日なれどひとりほゝゑむ有明の月　東京　佐野くに子

雲水の身にしあれども紅葉のいろにはしばし立とまりけり　東京　清水まつ

夕風にちまたの柳かつ散りて今日をかぎりに秋はくれゆく　東京　望月米子

夜神樂もかゞりもたえて更し夜を黄金千町田たゞ月の影　香川　瀬高やす子

△△△△選外佳作――小島駒子、富田寅恵、蟹江とよ子、松村壽賀子、横川明子、日野千鶴子、阪田元子、横浦美喜、荘司種子、以上の佳作は紙面の都合上掲げず。

腦病　精神病　神經病
東京府下〇亀戸町　かめゐど停車場ヨリ約十丁
加命堂腦病院
電話浪花二五五二
院長　奈良林淺次郎

小兒科専門
腺病質（瘰癧症）
小兒胃腸障害（脾疳）
腹膜炎（脹滿）
小兒皮膚病
ドクトル　メヂチーネ　長井岩雄
東京日本橋數寄屋町（呉服橋外）電本四八十

美人と洗粉は親友なり
洗粉に百種あり第一にクラブ洗粉
其原料は精良にして効用は卓絶したり
故に東京婦人は親友の如く常にクラブ洗粉を愛せらる、
冬の顔の荒れざるはクラブ洗粉の大特色なり

故に東京紳士は親友の如く
常にクラブ洗粉を愛せらる
されど洗粉を用ひ玉はざりし
昔の冬は然らずと記憶せらるゝなん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

內藤鳴雪選評

天　山寂りて心閑なり秋の暮　岡山　石川みよ子
評、靜中酒餘富む

地　馬子に問へば秋深草の道細く　因幡　橋浦美喜
評、少將の戀も古りにき

人　日は入るに人擧高し紅葉山　岡山　阪田充子
評、鬼の壁もまじろべく

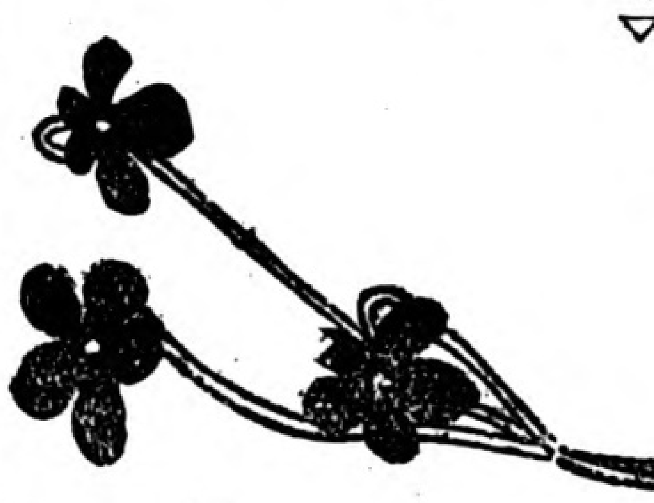
佳作

もみぢかる人皆かざす錦かな　豐橋　市川みどり
虫啼くやふけ行く夜の針仕事　熊本　竹下かしく
旅立や草鞋はきつゝ新酒汲む　備後　妹尾常子
何食はぬ顏して猫のうかれ行く　東京　秋花菊子
芒野や風に消えゆく馬子の歌　橫濱　上杉らく
小狐の振りむく丘や花芒　東京　川濱玉枝
木の影や水も動かで秋晴るゝ　青森　久保石子
旅人の寺に宿借る時雨かな　東京　柿沼野菊
萩の下怪しき文の落てあり　京都　安井千野子
鹿なくや麓の酒屋たゝく時　京都　つゆ緒
小まどからさし込む月や砧打つ　三重　莊司種子
立つ秋の刀な拭ふ隱士かな　岡山　西村てふ子
ひがん花寺に淋しき蝶々かな　神奈川　八木寥子
三尺の古墳に草の紅葉かな　東京　芳賀りュ
葬送の道のぬかりや秋の雨　岡山　清水梅子
草あれば虫の鳴くなり秋の暮　橫濱　上杉らく
月今宵舞子から須磨明石哉　備後　世應龜子

＊　＊　＊

△選者吟▽

三日月のそらを蜻蛉の行方かな



讀者倶樂部

□記者樣米艦隊の歡迎はどんなにかお賑かで御座いましたでせうれ、新聞で見てさへ手足が舞ふやうで御座いますもの、ほんとうに都に住みませんとつまりませんわれ、（瀨高やす子）

■そんな事も無いでせう。田舍には又それぐ樂しみもありますから、米艦隊の歡迎ですか。記者も妹達に連れ出されて銀座の大通りを人波にゆられ乍ら歩きました。それから醫中松を御忘れなさらぬやうに（記者）

□玄選受賞御禮、西村きよ子（閨秀百佳選）日野千鶴（仝上）瀨高やす子、佐野くに子、橋浦美喜、鈴木榮子、小田ゆかり、市村たか（以上懸賞文苑）

■市川みどり樣に。半切に原稿を書いてはいけません、讀みにくゝて困りますから。（以下記者より）

□瀨高樣に。ペンで原稿を書いても宜ろしう御座います。

■つゆ緒樣に。御手紙の趣き確かに承知いたしました。此からも誌上だけの匿名は無論御座いません。

□編輯局では其後別に變つたことも御座いません、一同來るべき新年號の盛裝準備に忙殺されて居ります。殊に本號は米國の次期大統領たるタフト郷の令夫人に呈上すると云ふので仲々いそがしう御座います（以上）

△應募者の注意▽

和歌並俳句の課題は次號より左の通り變更す。

冬季雜題

用紙は葉書又は葉書と同じ大さに一定したし。締切は從來の通り五日廿日の二回とす。

院長 醫學博士 榊順次郎　婦人科 産科 毎日午前診察
副 醫學士 久保德太郎　婦人科的外科 外國留學中
副 醫學士 田代謹二　婦人生殖器病 泌尿器病及內科 一般火木土午後診察
●施診火木土午後一時至二時

婦人科産科榊病院

麹町三番町三三（電話番町三九五）

スミス洗粉御愛用の御方は どなたにも出來る最も面白き娛樂

此洗粉は英國ケシブリッチ大學教授醫學博士エー、チ、スミス氏の配劑にして世界最高の美身料として品質の善良なると其香氣の佳絶なるは遠く他品の及ざる所にして發賣以來日尙淺きにも拘りませず格別の御高評と御愛顧を蒙り他品を凌駕するの盛況を得ましたのは一に本品々質の佳良なる特徴あるとは申ながら是れ皆樂位の御引立によりました結果に外ならぬのです就ましては其御禮として今回諸樣にても出來る家庭の御樂みとして面白き左記の大懸賞を催し終日徒然の御慰みに供する事としましたから左の問題に御答へ下さい

金壹千圓の大懸賞 スミス洗粉

スミス洗粉を愛用の御方には容易い事で趣味があります

（問題）

（一）皆樣が常に御愛用になる左圖のスミス洗粉のレッテル（壜の卷紙）に日本の文字が幾つありますか

（二）スミス洗粉使用法中大袋入は何回に使用へばよろしいですか

（三）此廣告を御覽になりました新聞は何新聞てすか

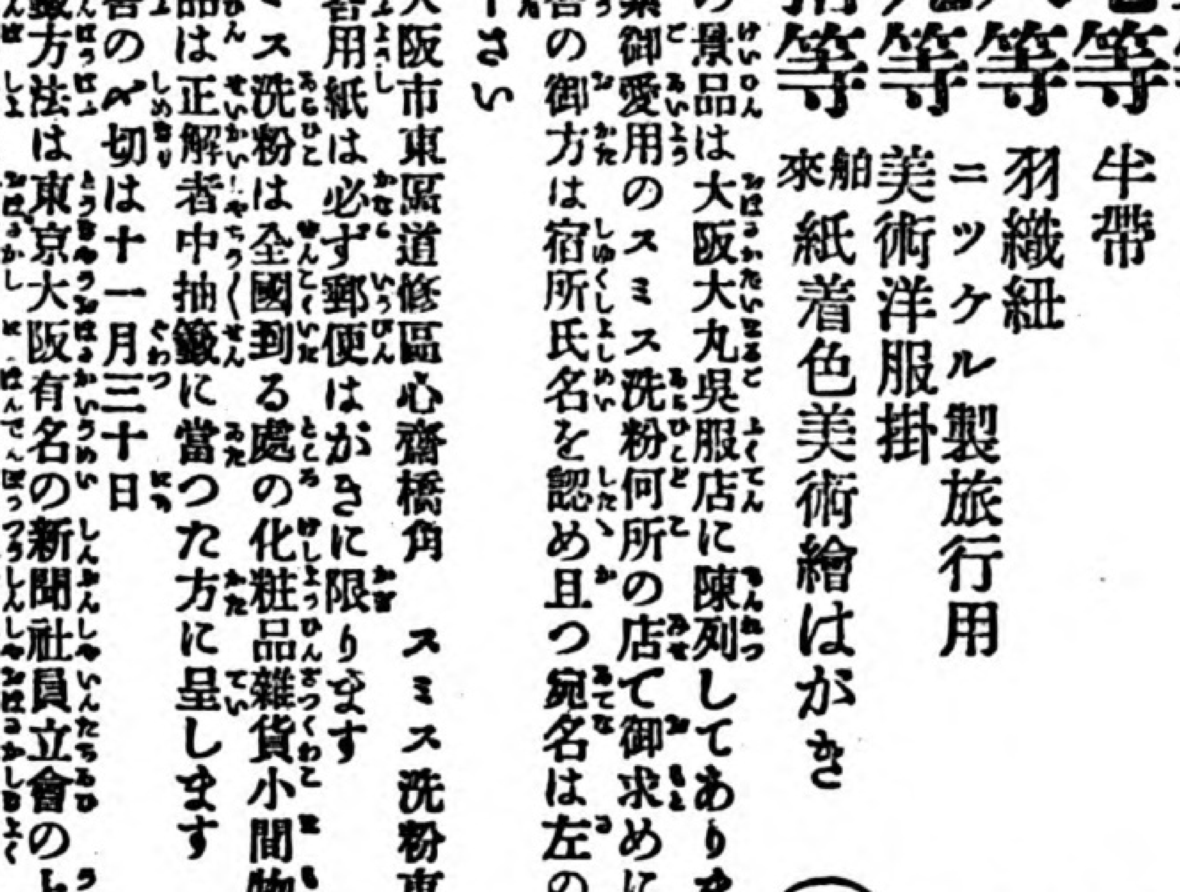
賞品

壹等	婦人持金側時計金鎖附／金泥織丸帶	一人／一人	（五拾圓宛二人）	價格壹百圓
貳等	紋縮緬別染長襦袢／羽二重別染長襦袢	一人／一人	（卅五圓宛二人）	同　七拾圓
參等	大島紬絣		（廿五圓宛二人）	同　五拾圓
四等	御召縮緬二反／友仙縮緬三反	二人／三人	（拾五圓宛五人）	同　七拾五圓
五等	肩掛		（六圓宛十人）	同　六拾圓
六等	四季袋		（貳圓半宛十五人）	同　卅七圓半
七等	半帶		（壹圓半宛五十人）	同　七拾五圓
八等	羽織紐		（壹圓宛百人）	同　百圓
九等	ニッケル製旅行用美術洋服掛		（五拾錢宛二百人）	同　百圓
拾等	舶來紙着色美術繪はがき		（拾五錢宛二千二百廿人）	同　參百卅參圓

一右の景品は大阪大丸呉服店に陳列してあります
一平素御愛用のスミス洗粉何所の店で御求めになりましたか
一解答の御方は宿所氏名を認め且つ宛名は左の通り御誤りなき樣必ずお認め下さい

大阪市東區道修町心齋橋角　スミス洗粉東洋總代理店　三共商會

一解答用紙は必ず郵便はがきに限ります
一スミス洗粉は全國到る處の化粧品雜貨小間物賣藥店等にあります
一賞品は正解者中抽籤に當つた方に呈します
一解答の〆切は十一月三十日
一抽籤方法は東京大阪有名の新聞社員立會の上執行致ます
一抽籤場所は大阪市日本電報通信社大阪支局に於て最も公平に抽籤致ます
尙當日は各位の御臨場あるも妨げなし
一當籤者名は十二月十日以後に此廣告掲載の各新聞紙上に發表いたします
一賞品送達費用は當籤者の負擔であります



定價	
小袋	金八錢
大袋	金拾貳錢
小瓶	金拾八錢
大瓶	金參拾錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

空前の大辭典は　十餘年苦心の結晶體

表面からは何が何やら全然判らぬが、裏面へ廻ると、隨分非常な苦心の跡の歴歴と見えるものが世の中には多いのです

ウエブスター和譯字彙、ブリンクリー和英大辭典、英和新字彙、日英辭典等の信用ある英語の字典を出版して、我が英語學界を利し、漢和大辭典、辭林等信用ある國漢語の字典をも出版した龜井三省堂主人は、今度は更に百科大辭典と云ふものを出版致しました。

百科大辭典は八千餘頁七卷にして、項目十萬餘あるさうですが、これだけ大部有益な著述をして、我が讀書界を益せんとする計畫は、今を去ること十年前になされ、大隈伯總裁の下に、非常の苦心に苦心を重ねて出來たのださうです。

斯く空前とも云ふべき大辭典を出版した三省堂主人は、實業家立志篇中の一位を占むべき一人であり、實業に志す少年の心を刺激するやうな逸話も多いさうですが、今は夫れを略します。

三省堂主人

彩詩

一等　香川　瀬高やす子

日記

菊月終りの日。小雨ふる。
花散らさじと綿を覆ひぬ。
晴れたる日。
染川のほとりさまよへば
蛇籠にやどる一本野菊
朝霧に夢みるけはひ
ほの淡く青ばき咲きぬ。

評。記事體の奇拔を採る。

錦木

雛の小萩花さけど
彩なる糸のたえやせし
千束も朽ちぬ錦木の
そよとの風の音もなし
宿命とあらば百年も
なかで待つべき我なれど
ああされどさびしからまし。

評。流暢期すべし。

三等　京都　つゆ緒

狂女

花さけど
人訪はなくに涙ながしぬ。
月すめど
人訪はなくに叫び走りぬ。
淺茅生の
淺き心に人を恨みて
露の身は
露と消えめどみたれ〳〵て
怪しらに
かたく鎖しぬ尾花ちる門。

評。伎巧に走り過ぎたる厭ひあり。

秀逸

おとうと　東京　佐野くに子

有明の光つめたき
あけがたに草葉の露を
ふみわけて天に歸れる
いたいけの弟なつかし。
新墓に果敢なき夢の
六とせなば如何に忍ぶや。
弟よ。さびしからずや。
汝が魂よ。いづらさまよなふ。

評。哀音悲調、句々皆涙痕を存す。

熊本　かしく

嫁げる友を祝ふとて
さちあれとほぎし彼の君
もろともにむつびし友と
偕老の契りはなりて
今日はしも祝ひのむしろ

選外佳作

よろこびの吾歌を――
筆とれば紙にむかへば
冬枯のさびしき思ひ
あやしうも胸にこそさわげ。

評。晩秋のごと淋しき歌。

朝のおもひ　熊本　峡よし子

ほのあかり夢より淡く　しらむ時そをなつかしみ
まばらに殘る明星の　しろき光を眺むれば
いと澄みゆく我心　あゝ世の人よたれか知る
清きあしたの此おもひ　悲哀の淵に沈む身も
ほがらか〳〵に晴れ行きて　希望ぞ胸に湧きみつれ

評。女らしき優しき想なり。

亡き母君　因幡　橋浦美喜

闇路に細き一路あり　花爛熳と咲きちらふ
常春園の片かげに　天女しらぶる六絃の
その浄音に母君は　あやめの雲に熟寢して
ほゝ笑みますと思ふ時　萩の細戸に水鷄なく哉

評。夢をあしらひたる其才凡ならず。

△落葉　鈴木まつ子△わかれ　八木清子△夕暮　清水梅子△友を偲ふ　西村長子△以上誌面の都合上掲げず

□新年號詩選題□　――十行以内――
△西にちなみあるもの▽　――一人五篇迄――
□締切十二月十日□　――氏名明記――

最上醬油　キハク印
名譽大賞牌受領　於聖路易博覽會

キハク印
醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判てすどーか其あぢのよくてそして經濟てあると云ふことを御ためし願ます

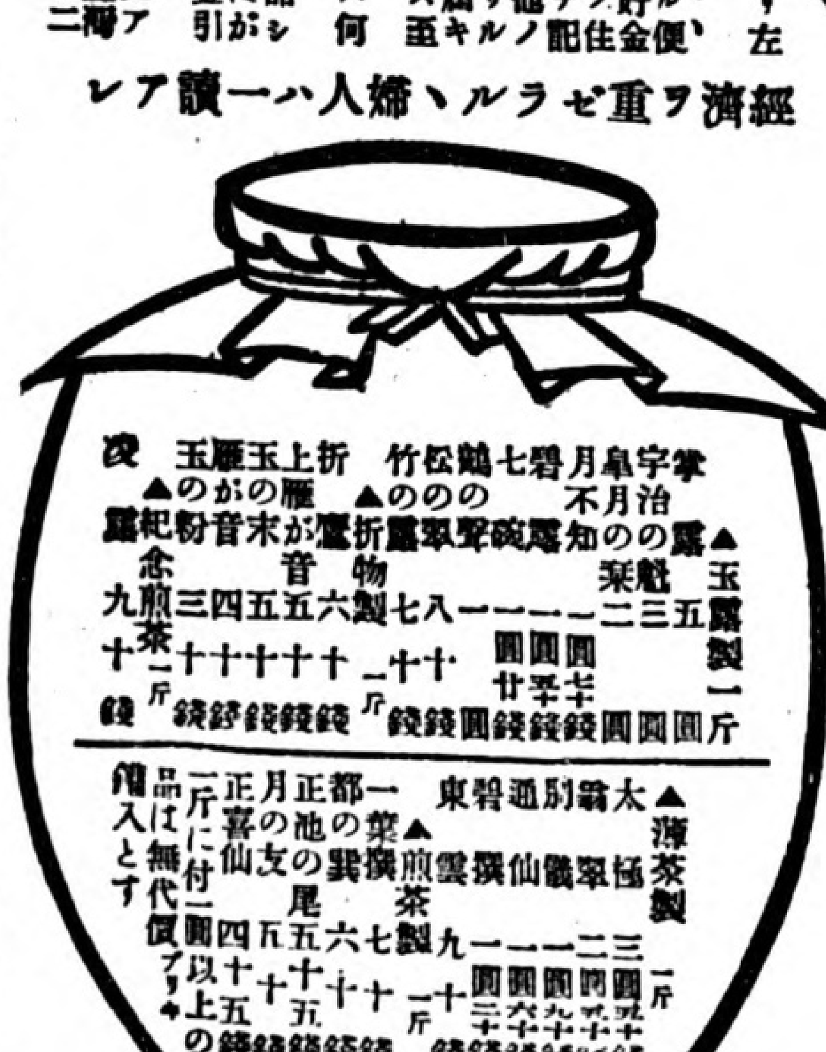
釀造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衛門　信略號（キハク）又（ハク）
東京支店　日本橋區小網町三丁目　中野長兵衛　電話浪花五七七四

▲宇治茶直接小賣▼
拙家製品ノ眞價ニ就テハ世已ニ定論アリ左記手續ニヨリ注文ヲ乞フ

販賣手續

（一）無料ニテ注文シ送金ノ出來ル便法ハ御便利ノ郵便局ニテ振替貯金ノ拂込用紙ト云フヲ受ラレ拙家ノ住所及ビ口座番號一〇〇四番等ヲ記シ裏面ニ御入用ノ茶名斤數其他ノ用事ヲ記入シ代金ヲ添ヘ差出サルレバ該金員等ハ直チニ拙家ヘ屆キマス故ニ早速物品ヲ郵送シマス至極安全ニ便利デアリマス此ノ用紙ハ拙家ヘ御申越アレバ何枚ニテモ送リマス
（二）品物ト代金ト引替ニテハ送品シマス故ニ御入用ノ茶名斤數ヲはがきニテ御申越アレバ直チニ代金引替小包郵便ニテ送リマス
（三）送費無料代價一圓以上御注文アレバ小包料ハ拙家ニテ自辨ス臺灣及清韓ト樺太ハ小包一個ニ付キ二十錢申受ク

經濟ヲ重ゼラルヽ婦人ハ一讀アレ



▲宇治茶製造元小包販賣ノ元祖　山城綴喜郡草内村　振替貯金口座一〇〇四番　七碗堂　古川專太郎

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達　玉寶堂　電話下谷（特）九六五番　一二四四番

●一回の注射

て鼻の低きものは高くなりますそして身體に害はありません又乳房の無きもの睾丸のなきもの骨の凹み等はお望により手術します

神田今川小路二ノ十一（九段坂下御儀敎會裏通）
大學醫院辭職耳鼻專門醫　和田昌訓

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電本八八八（病院用）八九八（私宅用）
東京神田區駿河臺鈴木町二（御茶水橋畔）
東洋内科醫院
院長醫學士　高田畊安

神奈川縣高座郡茅ケ崎町濱（停車場所在）
南湖院
河野副長は目下當院に在勤院長診察土曜日午後○同時窮者施診副長診察月、火、水、木、金、土、午前

マッサージ鍼治　午後治療の需に應ず
東京盲啞學校鍼按科教員　小石川區原町一二三　植物園裏通り　奥村三策

齋藤乾山著
己酉吉凶活斷　全
定價卅五錢郵税二錢郵劵一割增

本書は來る四十二年度各稟星の運命を總括悉く網羅詳述し毎月日運氣の盛衰より移轉建築婚姻旅行に至る迄各方位細別表示せり若し夫れ一家の進退若しくは自已の運命を知らんと欲せば一冊を座右に備へ置かるゝ時は一々占斷を乞ふ繁を省き利害得失を判斷し得る事容易なり況んや明年の吉凶を前知し事を爲せば益する事多かるべし如何なる家庭にも必要の良書也

發行所　東京橋木挽町三の六　同　小石川林町十三　鴻雲堂
發賣店　淺草東仲町淺倉屋仝森下町岡崎屋日本橋藥研堀すみや仝本石町至誠堂書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭料理

津川千代子

（前號のつゞき）

青鉢の材料　一生鮭の切み、一じやがいも、一食紅、一新生姜、一砂糖、一寒天、一鹽、一醤油、一葛、一酢少々

照燒　生鮭を適宜の切身にして、生醤油に漬て三十分間以上置きます。金串をうつて皮目の方から先に燒きます。燒きます時に魚串を一寸まわしておきますと串をとる時に直にとれます。兩面燒けましたら串をぬきとつて、皮目を上にしてその上に、てり醤油をぬります。

てり醤油はむづかしくいたしますのは一合の味淋を五勺に煮つめて、三勺の醤油を入れ一寸煮立てて直におろします。普通のは水三勺、醤油一勺半、砂糖三匁、葛二匁を水にといていれ、火にかけて一寸煮たててどろつとしたものをつくり、魚の上にぬります。

日の丸羹　じやがいもの皮を丸くむき二分位の厚さに切ります（これは長芋でしてもようございます）そして少々かためにうでておき、湯をしぼり食紅を水で溶いて入れ二三分間煮て、赤く色をつけ、それを水で手早く洗ひ、砂糖と鹽少しとて三分間程煮ます。

別に十人前としてじやがいも五合を皮をむき、三分位に切つてうで、やわらかくなつたら笊にあげて水をきりうらごしてしまいます。それを鍋に入れて砂糖百目、鹽少々を入れて十五分間程煮ます。外に上等の寒天を一本半を水につけ、やわらかになつたら、かるくしぼつて細にちぎり水一合五勺を入れて火にかけ、杓子でねります、二十分間程もねつて充分にとけたら、寄せる箱か重箱の蓋に寒天を一分通り程平にあげて、前のじやがいもの日の丸をその上に順よくならべ、次に前のじやがいもの中に殘りの寒天を皆入れて、強くない火で氣永に三十分間以上ねり、日の丸の上に流してみます。冷えますと固りますから日の丸を切らないやうに四角に切り照燒の匿合に致します。

朝日生姜　は新生姜をよく水洗して、根より二寸程上を斜に切りすて、そのままでもよし、又花に切つてもよろしうございます。煮立つた湯の中に入れて一寸うで、酢に漬けます。之も照燒の附合にいたします。

酢の物の材料　一鷄卵、一やまと芋、一わさび、一鹽、一酢、一生醤油、一味淋、一煮出し少々

まづやまと芋（つく芋）の皮をむき、摺り鉢をきれいにしてその中へわさびおろしにておろし、一寸すります、あまり摺つてはいけません。鹽をぽつちり入れて味をつけ、箸を兩手に持ち、芋をたぐるやうにして器に盛り、その上に鷄卵の黄みをくづさぬやうにのせ、そのわきにわさびをおろして一寸つけ上からかげん酢をかけます。

かげん酢は酢五勺に煮出し二勺、味淋の煮切り（味噌を半分に煮つめたもの）半勺、鹽少々、醤油三滴、まぜて、一寸煮立ててよくさしてつかひます。

圖書倶樂部

（其二）

○女子新書翰　日本橋區檜正町一番地　文祿堂

紹介子は始め一寸見て、又例の乾燥無味な手紙往來だらうと思ひましたが、讀んで見ると、此書は今迄世間にありふれたのと丸で雲泥の相違があります。紹介子は之まで此のやうに面白い手紙の本を見た事は御座いません。世間の婦人が凡て此書にあるやうな、趣味ある手紙が書けるやうになつたら、どんなに悦しいでせう。例をあげて見ませうか。

△取り敢いず歌留多會より。

折目正しい年始の御祝儀は、毎年の事ですから拔きに致しましてと、恐ろしく謝けて出ましたのは、實は只今歌留多を初めまして、貴女に是非々々入らしつて頂きたいからなの。

何時何日にかるたを致しますからの案内狀はもう三四日經つて皆様に差上げ、例の十五日に致すので御座いますが、今日計らずに栗山の兄弟をはじめ福島富田などの親類の若い連中と、外に妹の友達何やかや、わや〳〵と十二三人自然落合ひましたので、忽ちかるたと申す、珍らしくもない思ひ附き、これでもまだ人が少いから、あしたに近所のお嬢さんを呼んで下さいなと栗山の光さんがね、あなたを招んでくれろと云はないばかりの御注文、憎いけどもしかたがない、あたしも可愛いあなたの事、ねえつねちやん來てやつて頂戴な、そして光さんに例の高言を封じるやうな目にあはして下さい先は右大急ぎ亂筆

おしやれをして來ると承知しませんよ。

▽呉服屋の方へ

日外御相談申し候、ため子の衣裳一襲は只今▲▲に飾られある深川藝者と同じのに願ひたく候

廣東縞の江戸褄などゝは、お祝着のものとして大部意氣過ぎ候へ共、何もお歪の時のと云ふてはなし、殊に當人の大氣に入りに候へば、御商賣柄如才もなく在さんが色合もあれと同じく例に依て染め方まで御願ひ申候

文祿堂から同時に出刊された書籍に閨秀文範と云ふのがある。之は昔から現代までの傑出した才媛の、寸錦を集めた者で共に、手紙及文章を少しても上手に書きたいと思はるゝ方の適切な參考書で御座います。何れも四六版の凝つた製本で定價は何れも金四十錢。

○樂聖教練　京橋區竹川町十三番地　共益商社

此書は　富美宮泰宮兩殿下の御用掛て、音樂學校の助教授なる杉浦千歌氏の編著されたもので、師範、中學、高女等の第二年級以上の唱歌教科用書たるに適する程度に於て、聲樂の専門に入らんとするものゝ爲に編著されたのださうで御座います。で先づ大體を二分して、第一部では樂理及人聲に關する概論、第二部にては聲音の鍛錬となるべき練習、と斯様に分けられて一一實例に就て懇切に練述されてあります。終には熟語索引も附いて居ります定價金六拾錢。

如何にせば買物をして利益を得べきか

これ見遁すべからざる必讀の大文字ならずや

懸賞繪葉書附　**女徳論叢**　を繙く時は自ら解決せらるべし

㊟　本社は新に此書五百部を提供す　此書の附錄不思議の繪葉書を正當且つ多趣味に解答する時は無代價にて、一部全五拾錢の奧村五百子詳傳其他の書籍を獲得するの特權あり提供する部數は

㊡　僅に**五百部**　過ぎざる事を記臆されよ

購買の申込は月下が最も好時機也　絶好なる今日の機會を利用して**至急**購讀を本誌讀者に勸む

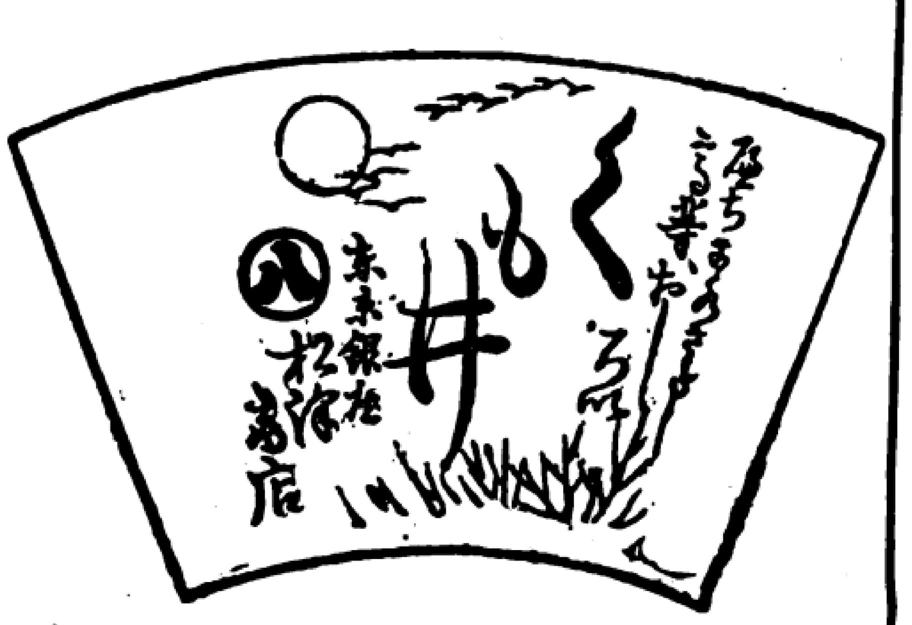
誌上　繪葉書の第二回當選披露は本號**誌上**に

申込所　**愛國婦人發行所**

定價金貳拾六錢郵稅金四錢

意匠登錄

玉おしろい



▽女徳論叢懸賞繪葉書△

第二回當選披露

當選

△夜の火事　三重　鈴原こと子

「あら姉さん火事よ」と叫ぶ聲に驚いて、雨戸をあけると空は眞紅でした「氣の毒だわね」といつて一寢入して起きると、もー空は眞暗でした

夜が明けると空は高く澄み渡つて、白雲の影も見えません、佳い天氣でしたが誰も昨夜の噂をしない所を見れば、夢だつたのかも知れません

○　奈良　武谷つねよ

苦じみ多き（黒）世の中も赤き心の誠もていと潔白にいさぎよく通さば何か難からん

○　常陸　木内きく子

赤阪の城に入らむと間諜が黒裝束に身をかためつゝ

▽賞品　以上奧村五百子詳傳一部宛贈呈

◉婦人病專門　芝明舟町十九虎門外宮様前　電話新橋三三二四　院長　櫻井克己　**櫻井醫院**

內科一般　東京神田美土代町三丁目十七番地　午前宅診　午後往診　**板垣亭**　電話本局貳千九百七十番

東京市日本橋區通三丁目　**第一生命保險相互會社**　電話　本局一三七三　本局一七三七

短文

歟室　京都　つゆ緒

ボーン！と響く相國寺の鐘、時は今窓外の桐の影が少し東になつた午後一時、隣の教室ではマーチヤントオブ、ヴエニスの譯の最中、『一つの心と一つの金入……』が頻にM先生の口で繰返される。二階の一年生では『か、さ、な、らの變格を忘れたのですか』と大きな聲トタンに私の後でなまあくびが聞えた、やつと三題できたと誰かの聲に一同そう。（一　等）

評、老練なる筆致

笛の音　青森　久保　石子

大水の引いたやうに靜かな夜である。秋の月は落葉した山に上つて、波の音が杳々と聞えて來る。こんな晩に死にたい、死んで見たい。けれど私には五十路を踏えた兩親が目にちらつく、が死んで見たい、死んで彼人から『石子！石子！なぜ死んだ』と云ふ苦しい言葉を聞いて見たい。笛の音がする。あれは歐美さんてある。（二　等）

評。垢拔けたる筆つき、

秀逸

島の奇習其一　香川　瀨高やす子

本縣下三豐郡に伊吹島と云ふのがあります其島の女は臨月になると出部屋といふ濱邊に一寸した家を建て出産後三十五日目に歸つて來る、當日家では大豆と蔘を黙り飯に焚き大鉢山盛り茶碗と箸を添て置くと知るも知らぬもお挊ひなし、たら腹たべて祝ふて歸る、大家では一俵位は焚くそうてす。

評。神代以來の傳習でせう、大層面白く拜見しました、早く其二、其三、を聞かせて下さい。

みやまの秋　東京　佐野くに子

神代の調べと清水は流れ、木の葉もなべて紅葉せる深山路を、賤が女のくづかきの籠に夕日をあびつゝ下り行くかと思へば、彼方にはまた樵夫の腰をやすめたるに、そが娘にてもあらん側にて火を焚き父に澁茶などすゝむるあり、浮世の外なる床しさ、なつかしさにしばしわが足はたゆたひぬ。

評。選者に『山』の歌多し、君も亦山を愛で給ふか。

手向せんとて　因幡　美喜

夕月ほのしろければ亂菊のあたりわが影冷たく落ちぬ愁知り顏なる白菊の花、琅玕の白露ほろ／＼と散れば身切らるゝよりつらきを手向せんと近より一枝手折りぬ、哀何時迄か鳴き泣ゆる雁よ、萩の細戸を開きて、母君の御前にと急ぎぬ。

評、全篇錦繡の文字

御寫眞　呉市　山德　秀子

姉さまが一番よく取れてるよ、淸ちやんもいゝけど竹坊はサルに似てるれ、『坊さるはいや』いゝえ太閤さまに似てるつていふのよ、『そう』とにつこり『姉ちやん御菓子もらつて來て上げようれ』

評、輕妙なり。

秋夜　岩代　長谷川よしの

庭の枯萩にそゝぐ雨の音が、寂しう響く、洋燈の心をかきたてゝ都の弟への綿入を縫ふ、母が最愛の三毛は長火鉢の猫疊に乘つて眠つて居る、末の妹は明日歌ふべき天長節の唱歌を復習て居る、天井て鼠が頻にさわぐ、遠くて唄ふ馬方節がかすかに／＼聞える。

評、萬事に氣が付いて細かい筆。

選外佳作

僕の得意　市村たか△歌題　八木淸子△夢　西村長子△失題　上杉らく△山内經子△豐年　みどり△障子の虫　石川みよ子△秋刀魚　山本ふみ子△折にふれて　△鈴木松子△少女　清水梅子△姿の顏桂木文子△印は就中秀逸。

植物質歯磨の特色

オペラ歯磨

袋入三錢　瓶入拾五錢

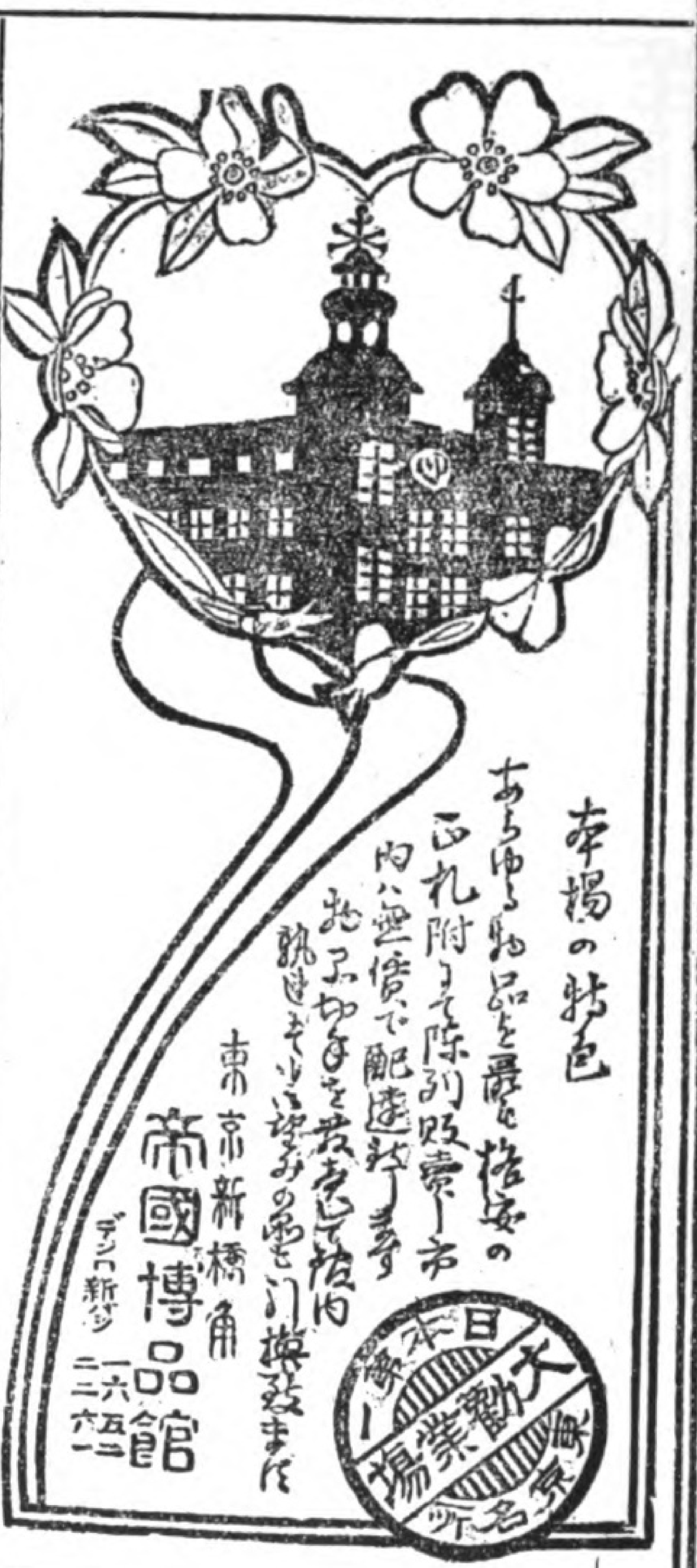
其主成分は植物質にして配合するに最新の特効劑及び貴重なる香料を以てしたれば歯を滑白健全ならしむること奇妙にして防腐殺菌の力著しく口臭口熱を去り又香味殊に淸凉使用後の淸快なるは筆舌の盡し得べき所に非ず。論より證據御試用ありて其卓効を知り給へ

發賣元　東京日本橋區米澤町一の一　鳳舞園

▽おつきあひ△　誠之

一、某孃からの消息に、薔薇の花を封じて下すつた方があつた、それから香粉紙を封じたのもあつた。選者は其後その方の原稿を見る毎に其事を思ひ出す。で前のを薔薇の女、後者を香水の女と、名つけてしまつた。

二、女體山のとある景勝に、死を企てた若人のつれがあると山の人の音信に接した時、自分は侮辱されたやうな感があつた。其處は嘗て自分が最期の地と揮んで置いた處だからである。



腰卷附婦人股引

東京勸業博覽會賞牌受領

腰卷兼用の御婦人股引で其の履き方は上圖の如く合せ目を前にして御結びになるので温く履き心地も體裁もよく決して腰冷等の憂ひなく冬季防寒實用上是れに上越すものはなし

定價 巾長壹圓五錢 大長壹圓十九錢 色白、赤、桃色、鼠、送費内地二足迄八錢五足以上當店持

製造發賣元　東京日本橋區ふきや町十番地（電話浪花二三四八番）　佃屋シヤツ店

特約販賣元　東京京橋區南傳馬町貳角（電本局一八二六）　ツクダヤシヤツ店　横濱市伊勢佐木町壹　岡田屋商店

姉「モー着てしまつて？早イコトネ、モー少して仕上るのですから一寸お脱ぎなさい、シンガーミシンですからぢきに縫へますヨ」。

家庭用　和服も縫へる

シンガーミシン

月賦販賣　無料出教授

明細書 裁縫書進呈　無月謝入學

此雜誌名御記入之上御申越あり次第送呈す

横濱山下町六十一番館　シンガー會社中央店

東京支店 銀座　大阪支店 心齋橋

内科專門　杏雲堂醫院　院長醫學博士　佐々木政吉　神田區駿河臺　電本一六六九

古屋鐵石著　獨習自在　自己催眠　價郵税共四拾四錢

催眠術を知らぬ婦女でも此書に基き實踐せば自己で自己を催眠せしめ自己の病癖を治す事を得、神經衰弱、腦病、吃音、眼病、神經病、寢小便、不眠症、船車暈、胃腸病、泌尿生殖器病等を治し得、殊に頭痛と煩悶とを去るには之に增る良法はなからん、

東京芝區愛宕町壹の貳（振替二三五一）　大日本催眠術協會　電新二八三四

新案特許　輕便罫引器　特製拾錢　並製八錢　送料二錢

本器は烏口と「ペン」とに兼用せられ一度墨汁を入置けば永く使用せらる○線は細太隨意且文字も書ける至極經濟的文具なり　市内は重なる文房店、學校用品店等にあり　製造元東京牛込區辨天町一四三大矢商店

勸題模樣御半ゑり

本店　神田表神保町壹番　電話本局二八五三

出店　新橋博品館階上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編修總裁大隈伯爵・編修顧問 井上 田尻 坪内 梅 松井 古市 三宅 七博士

日本百科大辭典

▲貳百參拾餘大家分擔執筆▼

▲參萬部限特價發賣
▲部數に滿れば正價に復す

▲正價……金六拾五圓
▲第一卷より第六卷まで各金拾圓
▲第七卷(索引)金五圓

▲特價……金四拾五圓
▲第一卷より第六卷まで各七圓
▲第七卷(索引)金參圓

▲代金は每卷出來期に分ち御送金のこと

▲第壹卷特價金七圓

▲送本料(每卷)市內無料、
▲市外書留小包料金四十八錢
▲清・韓・臺灣・樺太金六十錢
▲着金順により送本す

▲每卷出來期
第一卷……既成
▲第二卷……明治四十二年二月
▲第三卷……同　年五月
▲第四卷……同　年七月
▲第五卷……同　年九月
▲第六卷……同　年十二月
▲第七卷……同　年十二月

▲全部七卷(索引共)
▲四六二倍判　縱八寸九分 橫六寸五分
▲項目……約十萬
▲紙數……八千餘頁
▲組込挿畫……約三萬個
▲彩色挿畫及地圖……約四百枚
▲裝釘……總革製 天金箔付

▲東洋絕無之一大出版▼

◀萬有知識の一大寶庫▶

◉小冊見本――四錢郵券を添へ御申込次第送呈仕るべし

最近四十年間我國學藝の發達文運の隆昌は實に宇內の偉觀にして優に歐米列强の壘を摩するの勢あり然かも未だ國民智識の寶庫たる最も完備せる邦文百科辭典を有せざるは獨り國家の面目ならざるのみならず亦實に國民發展に對する一大缺陷と云はざるべからず弊堂玆に見るあり夙に日本百科大辭典の編修に志し明治三十三年特に編輯所を擴張し大隈伯爵總裁の下に顧問の諸博士を仰ぎ當代各科專門大家二百三十餘名の稿を請ひ編輯員前後百餘名之が整理編纂に從事し拮据九年幾多の苦辛を嘗め玆に帝國未曾有の完全なる百科大辭典を成功發刊するの光榮を得たり

本書の編纂は歐米最新の方法を經とし帝國現代の要求を緯とし內外古今の學藝より一般社會の智識に至るまで悉く爬羅剔抉して以て之を集大成せり而して脈絡貫通し首尾呼應し整然として一絲亂れず故に本書は萬有の偉觀六合の精髓而して最新科學の統合たり

本書は無數の圖畫を挿みて說明を佐け趣味の會得に便したり鮮明なるコロタイプ版彩色石版より百餘遍刷の色彩木版に至るまで皆是れ一流大家の撰に係り其原品は國寶たり史料たり將た名門の秘藏たるものにして我邦に於ける如何なる書にも未だ曾て有らざる所なり實に本書は趣味と實用の兼備學藝美術の總合なり乃ち本書は一大博物館なり一大博覽會なり一大圖書館なり一大パノラマなり博士大家を會したる一大講堂なり萬有の智識玆に凝集し古今東西の事物玆に網羅す公衙學校は勿論何れの家庭何れの集會所何れの職業何れの階級にありても不可缺の貴重書たるなり

弊堂は此破天荒の大事業を大成し空前の大特價を以て本書を諸君の座右に提供す苟も奮鬪的社會に處し活動向上を欲する諸君は敏速に此無盡藏の一大寶庫を開き此好機會を捉て以て時代的智識を領有し給ふべし

◉大冊見本――御入用の向は實費金五拾錢申受け候

東京神田 **三省堂書店** 裏神保町

電話本局 七二番・一七四九番・長三三六一番 / 六九五番・一五九五番・三三三七番
電信略號 〇三七
振替口座 一五九七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

川上貞奴嬢十數年來常用の美顏化粧料（佛國巴里シモン會社製）

シモン、クレーム

Crème Simon

「シモン、クレーム」は何故に斯く長くマダム貞奴嬢に此クレーム並に粉白粉（ライスパウダー）黄色、白色（白色鴇色）等の化粧料を日常愛用せられつゝあるか……そは「シモン、クレーム」は一種の强壯劑と皮膚を柔かくする藥劑及化學上數種の美顏料劑とを配合し數十年來の實驗と綴密なる注意監督の下に精製せられたる美顏と衞生上世界無比の良品であるからであります

「シモン、クレーム」は皮膚を白くし且つ滑かにして表面がすべ〳〵となり又天鵞絨の如く艶麗ならしめ快よき香氣を發します毎日お化粧の時に御使用になれば何時迄もつやつやしき容貌を保たれます「シモン、クレーム」はヒビ、アレ、日ニヤケ汗モ、ニキビ、唇のワレ、霜ヤケ又髯剃の後やお小供衆に塗抹ますとすべ〳〵として大變氣持ちがよく又美しくなります東京大阪三越呉服店は本品を世界最上化粧料として今や盛んに推擧しつゝあり各地洋品店、化粧品店にあります

日本代理店　横濱七十番　エー、ハイム商會

關西特約一手販賣　大阪市安土町四丁目　河井商店化粧品部

「シモン、クレーム」「粉白粉」「石鹼」共特ニ登錄商標を確めの上御購求を願ひます

登錄商標

目方ウリ

大俵炭

かます入　堅土釜切炭

神田三崎川岸　戸塚商店　電本參貳〇八番

胃病良藥

太田胃散

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 **森村銀行**

電話（特）本局六七三番　電話本局四九八番

定期預金	六ヶ月以上	年六分五厘
當座預金	百圓に付日歩	一錢
小口當座預金	同日步	壹錢參厘

東京市麴町區錢瓶町（常磐橋內）

日本興業銀行

電話本局　一、二八〇番　三、三〇〇番　四一番　三七番　（特）一〇二番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目

- 一 擔保附社債に關する信託業務
- 一 有價證券其他貴重品等の保護預
- 一 有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
- 一 地方債、社債、株式等の發行募集事務
- 一 各種の信託事務
- 一 國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
- 一 國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
- 一 法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
- 一 定期預金、特別當座預金

本品は高尚なる麝香に愛すべきスミレの香料を多量に含むがゆへ其の香氣馥郁として薫りを失はざる一大特点を有す

クラダ石鹼

東京日本橋本石町　本舗　井上吉兵衛

新製寶石入指環

此指環は今回弊店が特に佛國より取り寄せたる各種の寶石を用ひて歐米新流行の意匠を採り多數に製出せるものなれば價格低廉にして精巧優美なり

眞珠三個入	サフアイヤ又ルビー入	新ダイヤ入	オツパール入
十八金製　價金拾圓半	十八金製　價金七圓	十八金製　價金六圓半	十八金製　價金七圓半
十二金製　價金六圓半	十二金製　價金三圓半	十金製　價金三圓半	十金製　價金四圓

御注文の際は指の太さを紙片にて御示し尚此外寶石二個以上入りのもの彫刻付等のものも澤山取揃へ有之候

官內省御用達　東京日本橋區室町三丁目

金田時計店

電話本局六九五番　振替貯金口座三五六六番

新年勅題雪中の松

半ゑり帯揚類

調製品は雅致と趣味に富み優美高尚にして純生粋特色

御製模様賣始め

秋冬季節用ショール　羽折肩裏絞り染形
長襦袢絞り形染模様　襦袢袖絞り形友僊
七五三祝ひじめ絞り　博多二寸巾伊達卷
守巾着〇よだれかけ　御婦人持煙草入
箱せこ〇懷中貨幣入　帛紗地〇ネクタイ
京御召前かけ〇帯止　疋田絞りてがら切
高等洗粉チエリー　ゑり治形すゝめ形

本店　新橋竹川町十一番　電新二〇二七　ゑり治

支店　神田表神保町壹番　電本局九五二　ゑり治

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）

峰內科醫院

內科病特に腦脊髓神經疾患

院長　ドクトル メヂチーネ　峰秀世

西暦千九百〇六年發明の美身料

色を白くし『にきび』をとる有効化粧液

香氣馥郁として白粉下に常用せば附着を能くする効あり

全國到ル所賣藥小間物化粧品店にあり

小瓶三十グラム入　金貳拾五錢

大日本一手販賣　松澤常吉化粧品部　東京日本橋本石町四丁目

岩佐病院

日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六九七番）

診察時間　自午前九時至正十二時

內科婦人科	院主	岩佐純
內科	院長 ドクトル	岩佐新
外科	醫學士	山村正雄
產科婦人科	醫學士	西村漸
腦病脊髓病	醫學博士	土田卯三郎

齒科治療　ドクトル　**齋藤清太郎**

麴町有樂町帝國ホテル向（電本千五百十九）

產科婦人科天本醫院

今般小生儀醫科大學產科婦人科敎室勤務を辭し本院に於て專門の診療に從事す

下谷區仲御徒町二丁目卅五番地（故丸茂文良氏跡）　入院隨時

院長　醫學士　天本治

產科婦人科專門　岩田病院

診察每日午前　入院隨時

淺草區左衞門河岸　電話下谷一〇二八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區蠣殼町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 同
同區南鍋町
京華社支店
廣告社

洗用ワッセル

◎此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◎用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは（拾貳號）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶かしてかみしを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具の拭き掃除にも有効てす

定價　拾貳號入 金拾五錢　六號入 金八錢　袋入二錢

東京市京橋區三十間堀三丁目　電話新橋一七一二
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ秀香ワッセル製造元
三友商會

登錄商標

三越あらい粉

全國重なる小間物化粧品店にて販賣す

專賣特許及實用新案登錄

衣裳中入 吹留（すゐだしとめ）眞綿（まわた）

三越　白木屋　松屋呉服店にて實地使用販賣其他重なる呉服店綿店にて販賣致します

吹留眞綿

男女着物羽織共 定價七十錢、九十錢、一圓十錢、一圓卅錢 郵税八錢

最上等の眞綿製其の暖さと強さは普通眞綿の二倍餘を保ち古披綿に比べ清潔にして衛生によく其のまゝ着物にはいる樣に出來てをりますから御一人でも自由に御取扱ひができます

御婦人腰卷　御婦人はだ着

寒さ知らず

洗濯の出來る眞綿細工

腹卷、腰卷。男女股引。肌襦袢。チヨッキ。

優良の藥入眞綿製冶より來たる男女の一般病によく特に産前産後の方によき事は醫師産婆の證明する處てす

定價腹卷壹圓五錢特製壹圓五十錢腰卷一圓六十五錢特製貳圓以上郵税共

上圖は製法薄く召した姿たもよく暖さと其着心地は無上の品にして殊に幾度びか洗濯が出來ますからいつも奇麗てをります

定價並製二圓五十錢特製三圓

報知新聞代理部にても販賣す

實證は毎夜就寢後三四回便通ありし人此腹卷を用ひし所以來安眠する事を得日に健康を増されつゝありと云ふ生を希ひ見女な望む方は攝生攝養上の證かに其の要品なり

〇眞綿打綿問屋　東京市京橋區銀座四丁目　電話新橋一七七六　振替口座九四三二　大和屋商店

眞綿打綿絲問屋　東京芝區西久保葺手町　電話新橋一五四九　さかいや商店

綿眞綿打綿問屋　東京本郷區本郷四丁目　電話下谷二六五九　振替口座四七八六　桝屋商店

〇受賣御望の御方は特約店へ御申込を乞ふ

四十一年十一月廿日發行（毎月五日廿日二回）
（定價金三錢五厘一ヶ月七錢郵税不要）廣告料一行金六拾錢
發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 永井徳一
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所
發賣所 同 京橋區南鍋町 株式會社隆文館
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町秀英舍工場

愛國

理想の婦人

深き母、常に快活なる氣を以て子を育する母の爲身を愛し、家の事を執るに明敏なる婦人

家庭にあり又交際場裡にありて常に清涼快活ならんには「ゼム」を服用せらるべし

◎主効
◎頭痛◎眩暈◎氣鬱◎舟車醉◎時候傷◎水傷◎食傷◎消化不良◎口熱◎口中惡臭◎其他常用すれば氣分を爽快にし音聲を美にし諸種惡疫を豫防す。

定價 七十五粒入十錢 百六十粒入廿錢 四百廿粒五十錢 九百粒入壹圓 容器入廿錢

東京馬喰町二丁目 愛國堂山崎榮三郎
大阪高麗橋二丁目 山崎兄弟商會

警告!!

類似摸造品數多あり甚きは其包裝まで摸倣したるものもあり

注意!!

タカヂアスターゼ

●澱粉不消化　消化不良に原因する胃腸病中其七割五分は澱粉不消化に起因すとは歐米の統計が明示せる所なり肉食人種に於て已に斯の如し然るに本邦人は專ら米飯を以て常食と爲すが故に脂肪と蛋白質は泰西のそれに比して少きも澱粉質に至つては甚だしく多量なるを見るされば消化不良中澱粉不消化病の吾國に多きは當然の事といふべし從つて唾液の作用を補佐して澱粉をよく溶化し又糖化する藥品タカヂアスターゼは吾人が常に缺く可からざる藥劑なり（説明書は直接發賣元に要求せよ郵呈す）

東京市日本橋區南茅場町二番地　三共合資會社

小兒病診療　宅診午前 往診午後　淺草區福井町貳番地　醫學士 内田愼太郎　電話下谷七一八番

午前診察 午後往診　院長 醫學士 鳥山南壽次郎　京橋區鎗屋町十一番地　電話新橋千七百四十六番　鳥山内科院

〇院長 ドクトル 木村順吉　京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇番）　婦人科產科 木村病院

耳鼻咽喉病診療　入院應需　淺草區向柳原町一丁目二番地左衛門橋通り　中村醫院　電話下谷壹三〇

官許

水灸萬病療治

第一腦病りうまちす〇ぢ〇りん病〇せんきせんしやく〇胃病〇肺病〇心臓〇子宮〇〇かたのこり〇手足のいたみ〇眼病かつけ〇〇ちうぶ其他何病ても日を期して全快せしむ〇かへりには必ずふしぎになをり升又又いたむむ病氣なれば即座に目の前にて治し又一二年病院に入り長く効なき重病者ても一ヶ月位に全治す普通難病七日を御見込御越あれば大丈夫治る▲此水灸に就ては拙者十五歳より四十九歳迄多年苦辛研究の結果にてあつき事もなく灸跡もつかず其氣持宜き事限りなく患者の身に取られては神佛ともたとへ難し世界最著の改良水灸現場て即座に全快せしむ古來より無二妙力なり廣告的に思はず患者諸氏續々御來臨有て一度御ためしあれ依て遠路と雖も皆樣申合せ思ひ切つて一日も早く試みたまへ

神田區錦町一の十番（電本二七四七）小川町停留きは　黑宮治療院本部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附録 愛國婦人會記事

●參事會　去月廿八日午后一時より本部樓上に於て參事會を開き東鄕、關、高木山脇、三輪田、仁杉各員出席協議せり。

●評議員會　同日午後二時より同處に於て評議員會開催前記參事會員の外、伊東監事、佐々木、清浦、原口、尾崎、高木千家、丹羽、押川、龜井、柳谷、佐藤、佐方、三井等諸評議員並に佐藤會計監督等出席、富山支部魚津授產事業費補助幷に貸與の件等に就き協議同四時散會せり同日岩倉會長不參の爲伊東監事議長席に就き協議せり。

●救護に對する禮狀　本會より救護金を受けつゝある軍人遺族幷癈兵の、本會に對する禮狀は、一一之を紙上に報告するを得ざれとも左記も亦其一にして、斯の如き禮狀は常に夥しき數に上り居れり。

晩秋の候貴會益々國家の爲御盡瘁被下候段奉鳴謝候、私方へは每々貴會の御惠みを添ふし、又々今回も金拾貳圓を御送與被下確かに拜受仕候、其節直樣御禮狀差出す筈の所松儀久しく病床に臥し今迄御禮狀差出す事あたはず御不沙汰に相成りたる義御海涵被下度候、後れ乍ら御贈與金の御禮、松に成り換り申上る事如斯御坐候草々頓着。

十一月五日

高知縣香美郡美良布村

安岡　松、父　嘉右エ門

愛國婦人會御中

支部近況

△大坂支部▽

●特別徽章の贈與　大阪支部評議員廣岡淺子、同支部幹事沖野筆子兩氏は去十一月四日附を以て功績に依り特別徽章を贈與せらる。

△熊本支部▽

●慰問袋　韓國暴徒討伐隊の諸氏へ寄贈の爲め、熊本支部に於て取纏中の慰問袋は支部役員並各郡幹事部役員幹事會員の盡力にて非常の好況を呈し慰問袋に於ては八百七拾五個繪葉書代として金貳百圓餘の多額に達し既に韓國委員本部へ向け發送を了えたりと而して郡市外に計上すれば左の通りなりと

郡市名	慰問袋	繪葉書代金
支部直轄（熊本市及飽託ノ一部）	二一一	四八・一二〇
飽託	七一	二一・〇六五
宇土	二七	—
玉名	八二	一五・四五〇
鹿本	四六	—
菊池	七一	〇・八〇〇
阿蘇	一二七	二三・八七〇
上益城	四六	九・八〇〇
下益城	三〇	六・五〇〇
八代	一〇四	四・〇〇〇
葦北	五一	—
球磨	—	一〇・〇〇〇
天草	九	六三・二二〇
計	八七五	二〇二・八一五

栃木支部巡視日誌

野中彌知子

第一回報告

十月廿日

午前七時廿五分上野發列車にて出發、同十時卅分宇都宮着中山支部長細口副長安井植松兩野小山河合幹事山內主事の出迎を受け、一同手塚屋旅館に入る、午後二時より中山支部長安井植松小山幹事田口官房同行市の遺族癈兵を慰問し、弔賞者七家に各金若干を贈與就中憫然なるは戰死者小原金次郎氏の遺愛兒にて父には戰死され杖とも柱とも頼むべき慈母には病死され八歲の少女全く孤となりて亡父母生前知己の慈善家に養育され居れるなり。

鹽谷郡巡視日誌

十月廿一日

午前十時十五分宇都宮發下り列車にて中山支部長植松幹事大塚田口兩官房同行鹽谷郡北高根澤村に向ふ、寶積寺驛に下車するや、瀧川顧問大門賛助員阿久津幹事高田事務員の出迎を受け、是より一同腕車を驅り午後一時着富豪家見目淺氏邸に入り晝餐の饗應を受け二時卅分小學校に於て開會臨衆四百余名、瀧川顧問開會の辭、中山支部長の挨拶了て講話五時閉會、後支部長一行は歸宮其他は見目氏宅に一泊せり、當日は瀧川幹事部長病氣の爲、令孃出張公用にて前日來より當地に滯在の伊東郡書記非常の斡旋の勞を執られたり、因記見目氏は縣下屈指の資産家にて一家擧て慈善家なりと、

十月廿二日

午前十時瀧川顧問令孃高田事務員支部よりは矢島幹事佐々木事務員出張田口官房同行腕車を驅り道程二里の熱田村に向ふ、當日は上高根澤實、產家阿久津德重氏自宅熱田間道程四里餘に雨後泥濘の惡路をも厭はず、同行出席氏家町よりは大門瀧田石井幹事出張一同零時着富豪家小野俊雄氏邸に入り、晝餐の饗應を受け午後二時卅分役場樓上に於て開會、當日は鎭守の祭典に付臨衆僅々百五十余名瀧川顧問開會の辭了て講話五時閉會後直ちに腕車にて道程三里の氏家町に向ふ、七時着鶴屋旅館に投宿、支部長一行は歸宮因記阿久津見目兩富豪協心盡力會員募集力を快諾せり。

十月廿三日

午前十一時四十分中山支部長小山幹事佐々木事務員出張到着鶴屋旅館に入り、瀧川幹事部長も出席、午後二時卅分藥王寺に於て開會、臨衆四百余名大門氏開會の辭中山支部長の挨拶了て講話五時閉會後支部長一行は歸宮、自分は幹事部長一行と六時四十五分發下り列車にて幹事部所在地矢板に向ふ、七時過ぎ着、大見警察署長夫妻瀧川令孃令息の出迎を受け住吉屋旅館に投宿せり因記當氏家町に明廿四日夜軍人千余名入込に付、其多忙筆紙の盡す所に非ず講話會の開催されしは不鳳謝にて幹事諸氏の熱誠察するに餘りあり。

十月廿四日

午前七時卅分瀧川幹事部長大見幹事高田郡書記支部よりは田口官房同行腕車を驅り、道程四里の大宮村に向ふ山下村長杉山郡會議員車上途中迄出迎ばれ九時四十分着、同十一時中山支部長細口副長氏家町警師幹事、佐々木事務員到着午後二時小學校に於て開會、臨衆一千二百余名杉山氏開會の辭、支部長の挨拶了て講話、四時卅分閉會後遺族癈兵に菓子を贈與し、支部長一行は歸宮其他は幹事部所在地矢板町に引返し住吉屋旅館に宿泊せり。

十月廿五日

午前十時十五分中山支部長植松幹事大塚官房到着零時瀧川幹事部長大見幹事高田事務員田口官房先方より迎の爲來着の瀧田根本渡邊幹事村長代理助役同行、道程一里を腕車にて泉村に向ふ、午後一時着會場小學校に入る、二時開會臨衆五百有余名矢板校長開會の辭支部長の挨拶了て講話、四時卅分閉會後支部長一行は歸宮其他は矢板に引返し住吉屋旅館に宿泊せり。

十月廿六日　旅行日

午前十一時十六分矢板發列車にて支部よりは田口官房、幹事部よりは瀧川幹事部長大見幹事高田事務員同行鹽原に向ふ西那須野驛に下車、是より道程六里馬車那須郡田上幹事部長一行同驛に於て加はり池田幹事其他會員役場吏員七八名途中迄出迎ばれ、午後四時着滿津屋旅館に投宿せり。

十月廿七日　雨天

午前十一時支部より中山幹事大塚官房來着、午後二時門前村妙雲寺に於て開會、當日は雨天加之昨今紅葉の最盛り、觀楓客にて年中多忙の時季殊に至て小村落にも拘らず、池田幹事の非常なる斡旋に因り臨衆大人のみ百餘名、池田幹事開會の辭了て講話、四時閉會後一同古町福川亭に宿泊せり。

十月廿八日

午前七時卅分出發、中山幹事大塚田口兩官房瀧川幹事部長大見幹事高田事務員那須郡田上幹事部長一行同行馬車にて矢板に向ふ、九時過西那須野驛に着、田上幹事部長一行に告別、同驛發上り列車にて矢板に着せしは零時卅分、瀧川顧問叔母町長大見警察署長矢板幹事會員十餘名出迎ばれ間もなく中山支部長細口副長佐々木事務員來着、一同住吉屋旅館に入る、午後二時弘生館に於て開會、臨衆大人のみ六百餘名、瀧川顧問開會の辭、支部長の挨拶了て講話、四時卅分閉會後支部長一行は歸宮當日の講話會に付、瀧川叔母二令孃非常に斡旋の勞を執られたり。

那須郡巡視日誌

十月廿九日

午前十時十六分矢板發下り列車にて中山幹事田口官房同行、那須郡西那須野驛に向ふ、瀧川幹事部長矢板大見幹事會員七八名、大見警察署長高田伊東兩事務員停車場に見送られ十一時過着、田上顧問吉田事務員江川村長夫妻品川幹事會員七八名出迎ばれ、一同大和屋旅館に入る、午後二時小學校に於て開會臨衆五百餘名、田上顧問開會の辭了て講話四時卅分閉會、大和屋旅館に投宿せり、當那須は鹽原への出入口にて昨今團隊の觀楓客引も切らず加之年中の農事繁忙の時季に付當出席し難き人々の懇請に因り夜に至り七時卅分旅館廣間に於て開會、臨衆は有志者其他一般男女六七十名、九時卅分閉會、當地は有名なる那須野の原の新開地三府四十三縣の寄り集りにして案外一致和合せり。

十月卅日

午前九時黑磯町より、栗田幹事部委員迎の爲め來着、十時四十六分發列車にて田上幹事部長同顧問日下部江川幹事同行黑磯町に向ふ、十一時過着、高木幹事其他幹事會員二三十名の出迎を受け一同高木幹事宅に入る間もなく、支部長代理として矢島幹事佐々木事務員來着、晝餐の饗應を受け、午後二時小學校に於て開會臨衆大人のみ三百有餘名、田上顧問開會の辭了て講話、四時卅分閉會後中山幹事田口官房は歸宮、矢島幹事佐々木事務員田上幹事部長一行と共に塩原屋旅館に一泊せり。

十月卅一日

午前九時五十六分黑磯發列車にて、矢島幹事佐々木事務員田上幹事部長日下部幹事吉田事務員同行幹事部所在地大田原町に向ふ、高木幹事磯谷警察署長夫妻栗田委員夫妻其他幹事會員七八名に見送られ十時四十分西那須野驛に下車し是より腕車にて十一時卅分着、中川屋旅館に入る、間もなく中山支部長植松幹事戶田官房來着、午後二時小學校に於て開會、當日は雨天加之月末に際し臨衆僅々二百五十名、田上顧問開會の辭支部長の挨拶了て講話、次に大田原子爵慷慨悲憤の演說あり、四時卅分閉會後支部長一行は歸宮せり、矢島幹事佐々木事務員と共に中川屋旅館に宿泊せり。

十一月一日

午前九時矢島幹事佐々木事務員田上幹事部長同顧問日下部警察署長夫妻其他幹事會員六七名吉田事務員同行二里の道程を腕車にて野崎村に向ふ、十一時着富豪家渡邊庄二郎氏邸に入り晝餐の饗應を受け、會場小學校に至る間もなく中山支部長植松幹事田口官房來着、時恰も午後二時直に開會臨衆七百餘名、田上顧問開會の辭支部長の挨拶了て講話四時卅分閉會、當村は三里に渉る大村人家稀なる那須野の荒原坼く大衆を一堂に集會せしむる中山村長の苦心察するに餘りあり、因記拇擧校長夫妻非常に熱心なり、當村は鹽谷郡書記伊東氏の鄕里にて、當日は父子共に出席斡旋の勞を執られたり、五時野崎發列車にて支部長一行と共に一同歸宮手塚屋旅館に投宿せり。

治療奏効疾患

半身不隨、一局部の不隨、膓胃病、子宮病、頭痛、僂麻質斯、脚氣、神經痛、打撲傷、挫傷其他醫師診斷の上必要と認むる諸症、

道の遠近を問はず何時にても左記の電話又は御一報次第迅速參上可仕候

但し手引案內者を要せず

一施術料はマッサージ全身五拾錢より局部三拾錢より

一鍼治は金參錢より

一日本按摩は金貳拾錢

神田區豐島町四十一番地　小田平吉

電話浪花二二四四番大野礦吉取次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

△慰勞寄贈補遺▽

韓國駐屯軍隊並憲兵警察官等に對する慰問袋寄贈者の名稱中、前回に報告洩れとなりしもの左記の如し。

慰問袋個數	繪葉書數	氏名
七		本部評議員男爵夫人 有地捨子
二七	五	同 子爵夫人 寺内瀧子
一〇	五〇	同 子爵夫人 井上光子
二	五	大阪支部會員 池田きみ
二	五	同 香渡和歌濃
三	二	青森支部會員 津田たま子 大橋八佐子 三上八重子
一二		鳥取支部

□**訂正** 第三回報告(第百六十二號)東京支部の寄贈者人名中、左記の通り正誤す。

▲麹町區井上時子は井上睦子△同じく末野ヨシ子は末野ヨネ子△同じく長田しき子は長田しま子△同じく高崎鶴子は高島鶴子の何れも誤まり也。

△佐賀支部▽

□**講話會發會式狀況** 従來會員に對し會務報告又は會員相互の懇親を結び、智德を涵養する等の機關なかりしを以て、今般毎年春秋二季に講師を聘し、講話會を開設することに決定し、其發會式を十月廿四日午後三時佐賀市内武德會場に於て舉行せり、當日は朝來晴朗所謂十月の小春とも云ふべき季候なりしが、定刻前より參々伍々會員の參集するもの七十餘人來賓の招ぎに應じたるもの、在鄉將校女學校長幹事部長十七人遺族十九人あり休憩中は蓄音機を吹奏して來會者を慰め定刻に至るや左の順序を以て開式せり。

一、支部副長豊島外良子壇に進み、開會の挨拶をなす。

二、支部副長仁保志滿子
皇后陛下より三十七八年戰役に關し、本會に賜はりたる令旨を捧讀す。

三、豊島副長支部長の式辭を代讀す。

四、主事藤澤喜士太氏會務並救護其他支部行動上の概況を報告す。

五、支部參與豊島愿氏は續々會員に對する訓示演說をなす

六、來賓佐賀聯隊區司令部副官德田大尉師範學校長川島庄一郎氏の講話あり

七、豊島副長閉會を告ぐ

八、一同撮影

九、茶菓を饗し、筑後琵琶、蓄音機等の奏樂ありて十分の歡を盡し、散會したるは午後五時なり。因に記す當日の撮影寫眞は終身會員石川千代子氏の篤志寄附に係る由。

△愛媛支部▽

□**西宇和郡幹事部** 双岩村總會は去る十月二十日双岩高等尋常小學校に於て、第一回双岩村總會を舉行す、會場の入口には國旗を交叉し入口の右方は愛國婦人會愛媛支部西宇和郡幹事部双岩村總會場なる標札を掲げ、同校の講堂を以て式場且會員の休憩所となしたり、午前十一時一同着席左の順序により式を行ふ、當日出席者は渡部幹事部長渡部顧問各幹事藤野事務員を始めとし、會員來賓渾て七十餘名、頗る盛會なりき、式終て一同茶菓及折詰を供し午後一時散會したり。

式次

一、受持委員開會の旨を告ぐ
一、幹事部長の告辭
一、支部長の祝電朗讀
一、幹事部顧問の祝詞
一、受持委員の答辭
一、來賓の祝詞演說
一、會員總代の祝詞
一、受持委員閉會の旨を告ぐ受持委員閉會

△青森支部▽

青森市幹事部 十一月一日より三日昧爽まで師團の第五十二聯隊青森市通過の際愛國婦人會の職員が出でゝ將士を接待したるが武田支部長には遠き旅路の兵士が長時間の休憩は嘸退屈ならんとて三日の朝は蓄音機を出たさしめて其無聊を慰めたるに七百余名の兵士は交々樂々を取りつゝ滿面喜色を帶びて之を聽き或は水筒に麥湯を受けて最と愉快氣に話し居たるを見受けたり右に就き四日とも當勤せられたるは小原副長、樋口評議員久保幹事にして三回出勤は田中、高柳西田の三幹事又二回は今井評議員を始め矢嶋、勝林、松浦、原田の各幹事西谷奬勵委員にして一回は上田、菅沼、水興、津輕の各幹事及中西太田の兩賛事にして何れも家事の都合を繰合せて盡力せられたるは感ずべきことも也

南部幹事部 會員の貫徹を期する爲め郡下南部内巡回中の愛國婦人課一行は去月三十一日猿賀村日沼小學校に於て本月一日猿賀小學校に於て幻燈會を開く會衆合して無慮九百余名小林村長は日沼にて田邊收入役は猿賀にて各々開會の辭を述べ進藤副主事說明を爲し不斷盡力を興ふ幹事清藤たき子を始め、小林賢之助、福士亦太郎、三上保正、役場書記樋口增太郎及清藤勝太の諸氏熱心以て會員の勸事に盡興し新入會員十四名に及べり本村は之にて會員五十二名女子人口百人に對し會員二名五分の歩合に遂したり然れと豫定率には尚十名の不足なれば今一奮發を要するならん此の日天筑幹事部長は吉村、加藤、淺川の各幹事と共に出張清藤幹事の邸を訪ひて會員擴張の必要を說きて懇書措く能はざらしめ倶に手を拉へて幹旋の勞を執り尚清藤幹事は明春支部總會の際多額を寄付して總裁殿下より有功章の親授を受くべき意氣込にして却々の盛況なりし

次て其一行は去二日尾上小學校に於て幻燈會を開く觀覽者三百有余名助役岡本龍太郎氏開會の辭を述べ映畫の說明例の如し天城郡幹事部長は在黑石町の幹事四名と共に出張在本村幹事四谷ちゑ子の先導を以て立どころに七名の新入會員を出せり本村は右にて會員四十四名となり人口百人に對し會員三人强の率に達す然れと豫定數には尚三名足らずと云へり尤も今回の一行は會旨を普及して永遠に發展の基礎を作るにあれば一村に一ヶ所の幻燈會を開くに止まり勸誘の時間も不足なれば已むを得ざるならん右に就き盡力せしは村長松井三千郎、助役岡本龍太郎の兩氏を始め校長小笠原保雄氏外職員三名駐在巡査福島種次郎氏等にして近來稀なる盛會なりしと因に小學校に於て天長節拜賀式舉行のとき首藤副主事は全校の需に依り軍旗に付一場の所感を述べ尙武の氣風を喚起せしめたりと

△靜岡支部第壹回總會有功章授與者人名▽

(一等)小笠郡幹事部長尾崎ふさの子△同郡顧問尾崎敏樹△富士郡加島村松永國子(二等)田方郡幹事部長鈴木たよ△同郡顧問鈴木七二郎△安倍郡幹事部長小川よね子△同郡顧問小川省次郎△駿東郡幹事部長辻きん子△同郡顧問辻芳太郎△周智郡幹事部長大澤福子△同郡顧問大澤富二三△静岡市副長野崎すぐ△同評議員尾崎かつ△静岡市幹事北村せい△賀茂郡幹事依田小苗子△安倍郡宮崎美都子△富士郡吉永益子(三等)富士郡幹事部長後藤とく子△同郡顧問後藤隆△静岡市幹事部長長島うら子△同市顧問長島弘裕△賀茂郡幹事部長雀部勇子△同郡顧問雀部咸宜△静岡市評議員井上れつ△遠田さゑ子△同市幹事立花京子△磐田郡幹事市川しづ△同松本さわの△駿東郡幹事倉岡都留△駿東郡幹事飯田なか△榛原郡幹事委員大井周平△田方郡同河合龍節△同大原垣△同前田勝次△菊地慶作△磐田郡同青山善作太郎△周智郡同新村金次郎△安倍郡同土谷松太郎△小笠郡榛葉忠藏△平尾平十△同渡邊伊太郎△濱名郡幹事部事務取扱縣屬武△小笠郡同山田白平△同山下廣見△駿東郡同松平勝種△安倍郡同鈴木虎五郎△小笠郡同早川大隆△安倍郡視學中村善作△駿東郡沼津町長小出定富△清水村長平井喜十郎△安倍郡長田村助役鈴木銳太郎△富士郡吉原町鈴木宇作△同郡吉永村渡瀬喜太郎△田方郡幹事鈴木きん△磐田郡同杉山せい同青山すみ△庵原郡幹事志田ちか、同片平ちか、同原ちか、同吉川トヨ、同山梨イノ、吉川あや、赤堀いよ、△小笠郡幹事松浦たき、同伊藤すめ、同黒田かね△静岡市幹事小林保子、同磯野ゑつ、同伴野ふみ、同鈴木リフ、同堀田ろく、大石愛、同谷田みよ、同藤田まさ、同大石たま、同林しま△榛原郡幹事矢部こと、同久保田とし同木下ひさ△静岡市幹事栄翠△駿東郡幹事深見とよ、同仁王てう△静岡市幹事尾崎德△磐田郡幹事諸井たま△賀茂郡同依田すて△濱名郡同山葉のぶ同金原むめ、同高村いち、同山内健、同平野いし、同鶴見うめ△静岡市同新間韻子△田方郡同小穴はまよ、同同大原いわ△静岡市伏見みち同伏見てる△庵原郡幹事長坂とく、同栗田てい△志太郡同村上あい、同紅さと、同甲賀てつ、同大塚近△濱名郡同太田より△磐田郡同金井ひで子△安倍郡同土谷せい△磐田郡中津川ふさ内山さき、和田さつ大石とう、山内千代、太田つた、市野かの、片桐いと、天野まさ、御室さよ、鈴木はつ、宮澤しか、村松ちか、宮澤ゑひ△庵原山梨たけ、乾ウメ△小笠加茂とく△安倍中村くら、片瀬さく△静岡安達べん、辻村ギン、近藤モト、安池やす、小林さよ、小山はな、橋本きやう、笹野てる榛原鈴木とよ、中村きく、伊東いく山田みい、村松ひさ△富士渡井ちか、小澤けい小澤こう△安倍飯塚よき△静岡佐藤せい△小笠山崎賀壽山崎さわ△田方杉山とく渡邊てい富士堀内あき△駿東木村貞、增田けい、長倉さと、植松ゑに、芹澤きわ、勝俣ぬい△安倍江川みき△富士齋藤つね△賀茂黒田八千子△濱名鈴木まさ、小野江ふく、加藤しげ、間淵よし、中村はな、内山かの、木俣とめ、宮本しま、田畑うら△田方江川勢△静岡原はま△周智森下たか、山住とよ△静岡平尾やす△庵原乾ケン、中川ため、△富士松永ます子△静岡安達喜和△志太松永むつ、町井甲子△周智鈴木やす、山本寸作、高橋嘉吉

販賣廣告

製作品目錄

○木綿足袋、紺白キヤラコ足袋、紺瓦斯足袋、純白絹天足袋其他各種小見胸掛(エツプル)西洋前掛、シヤツ類

○本品は軍人遺族及廢兵家族の製作せしものにして、精選の品質を用ひ裁縫を吟味し、廉價に販賣致候間慈善同情の各位多少に拘らず御求めあらんことを乞ふ

○御一報次第定價表御送付可仕候

○十足以上の御注文は市内に限り送料を申受けず

東京麹町區九段坂下牛ケ淵 愛國婦人會
東京支部授產場販賣部
振替口座 一五一一四番
電話番町 一五二一〇番 一、七四五番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

慰問袋寄贈

△第六回報告▽

△岡山支部▽

金額　氏名

四円五〇　天野久子

一・〇〇　柴山惠外四人△大饗春三△妹尾松子

・七五　小高麻佐子

・五〇　谷口美代子△菱川内△坪田松野△吉形能布△池上久用△櫻井稲子△櫻井學二郎△抽木乙技△三宅國子△妹尾茂△難波政野△横見小槇△難波いちの△横山ぬゐ

・四〇　三村まち△淺口郡大島村小學校職員△難波嘉野△棕本梅子△佐藤きよの

・三〇　玉島千勢△井上てつ子△國赤七△延風喜平△松原安△岡坂とめ△岩崎春興△石原喜野△藤原千年△松本ヒサノ△龜川靜△河合德吉△横見マス△酒井とよの△濱野政野△國靜代△池上佐代△池上國△三宅さく

・二五　岡崎小波瀬△野口しよう△天野ウラ△野口良代△稲垣うたよ△小林久助△小林さわ△山田さた△松本さく△井上小時△井上靜野

・二〇　河部猜一△清水源次郎△角一△長尾益造△村岡登居雄△横山計△櫻井小し尾△草加千登世△岩崎早種△三村菊野△草加美津△草加春衛△三村靜△丸野ミシ△三宅清谷△兒島紗織子△小松原かれ△小松原操△三宅松野△竹内いと△白梁花△原田松△渡邊とめ△淺口郡大島村小學校職員△同郡同村四小學校職員△上野ツネ△瓦出竹△難波とめ△野村まきの△松森くら△岡本ツチヨ△岡部たき△三村かつよ△野口貞代△家親たけ△長船きぬ△横山春△渡邊まきの△太田もゝ△池上つた△小出さく△池上綾△金戸花△桑元まつよ

・一七　高原鎮次郎

・一五　守坂盛△片山やゑ△逸常槇△高原多吉△多太庄太▲高原三九郎△安田信太△長尾實次郎△武田實一△高原清三郎△高原荘吉△高原涯十郎△高原久太郎△守見石野△村田信加△松島登和△田中常代△草加す惠△草加登員△野咲松野△草加太郎△久山久賀△小松原猶△三宅繁△小松原清子△内藤泊△東ツヤ△横本操△島田かめ△嶋島津知興△松森常△小川露子△岩野ちかよ△渡邊増代△渡邊政代△井上龜代△横山君代△岩野きくよ

・一〇　尾尻様太郎△高原啄四郎△長尻柳三△山本さく△荘みつ△島田とら

・〇五　高原九八郎△田鍋小たま△山本かめよ

同上慰問袋の部

個數　氏名

一　水田晋造△岡田節次郎△槇木壽野△水野俊吉△河部吉造△野上恒△辻トク△守山征次郎△清水小奥津△同國△同春野△森千代△大峰しか△黒田攀△清水英太郎△大峰與三郎△加藤仲太郎▲古家野糸子△宗光松造△田中常次郎△牧野さ野△楠原光子△尾高甫△佐藤みれ△同ふじ江△池上千代野△實科女學校有志者△山陽新報社營業部員△佐藤絹子△小野鶴子△山田榮△山木戸鶴子△庄司秀子△山本常子△小林かつ△庄司鐵△河内かづ△松田清△加嘉屋職工一同△林かな江△竹原さよの△大山瀧代△金崎ちよの△那か美まつ子△近藤梅子△今城玉子△坂川すみ子△高橋政代△武田ちかの△藤本くに代△安井岩野△高橋花子△石尾小光△松本小鹿△宮本榮子△藤本あさ子△八代河村つ子△岸木一野△松原きくよ△八代正子△八代さの△中村朝△阿部芳造△山崎保子△木村きわよ△近額田よし△九津見うた△熊谷幸三△岡田鶴子△堀四繁野△大田壽次△覆きよ子△内田さと△森増技△居岡△稲田百技△角南喜代野△未松ちゑ外二人△鹽見しげの△片山河野外二人△國府島たつの外一人△近藤△秋山靜枝△清水てい子△片山八百子△宮本松の葉△稲田梅子△松本たきよ△平井龜代子△藤原千代りや△中西呉服店△人見安子人見初子△人見環子△河田△守安秀子△平井金治△小松萬平△小田仲子△佐伯喜吉△柴田定市△小田香苗△小田貞子△津下仙太郎△高田利日△武本永代△松本ふみ子△粟井みよし△三宅秀子三谷しな△國米實子△岡本やす△難波春子△岡本まさ子△島谷千勢△松川松△松本とみ子△岡本芳子△松田峰子△片岡淑純△岡竹鶴野△池田穂代△岡本ちよの△大月辰子△野面荀△富田入重の△原田岩△上岬入千代△岡村あさ子△大塚常興△中村嶌子△小山まさ子△片山つた子△安井巣子△景山良岡田朋子永守貫久野△淺海さわ子△太田かれ子△土井鄕子外一人△森初江外一人△鈴木深野△室たみ△中山壽△太田照子△山田恭子△内田梅子△江坂りゑ△小野信理△松田房△足利すゑ△中山みつ△山内つな外一人△小野房子外三人△梶並政代△坂田俊△太田ふじ子△太田久子△入部小金△林定世△長井みつる△柴田千代△山本ときの△伊藤霞△竹原まち外二人△武田小政△河合榮子△木村久野外一人△靈取民ひさ△難波つれ△赤澤たきの△小原柳外一人△小倉鄕外一人△太田きの△大畑くま△川本靜子外一人△梶原網島まち△三宅きよ外一人△富原岸△山脇叢外一人△赤澤コマ△黒澤綾外一人△速水千代△久崎谷吉外一人△守本梅子△青山成己△香川小政△畜部勝△岡しげ△伊木かめ△陶濱正△山田小松△白石すゑ△島人△神田千代野外二人△長谷川伊野外一人△島崎谷吉外一人△大崎壽子外一人△西村すみ外二人△第五寄宿舎生徒△石野尾週外一人△桂房野外一人△高森治江外一人△下村榮外一人△高尾壽子外二人△八幡かめ△森岡喜久子△中島武子△海野和子△村田きぬ△石井かよ土肥原かめ△大久保鄕△金田貞子△小川春△内田綠野△友野直子△磯崎高△岡周子△香川小政△磯崎長枝△新庄あき子△船槇重△無名子△吉原竹△戸田梅野△小静定△片山みよの△大口愼子△水野强子△赤技政子△山上岡十郎△稲岡常子△大野小飯△荻田鶴子△藤原小閑△林喜志野外二人△直原つたゑ△藤原治代外一人△大野重子△金谷鶴野外二人△森入重子△小津龜吉外二人△小林鑑野△重松政子△三上求子△松崎常子△島村鐡や△藤原愛△角谷小梅△高尾萬年生外一人△鈴木金子△岡本安吉内梅子△岡入重子△森鄕韻子△飛田甕曾子△大倉駒這狩山定助△松村豐子△服部小春△高原みな△永井眞笹外二人△龜岡ます△柴岡衛△永山豐子△野口山藍△河靜子△片山壽吉△延原政△東山鶴七△松崎民藤原六郎△千輪菊野△服部鶴子△高野喜平外二人△増田幸子△近藤驥生△横山しげ外二人△吉田展子△田口靜子△吉田小柳△太田游△三宅氷△田中小次郎△藤田和幸△中桐松太郎△肺戸金子△岡本加代子△杉山定野△鈴木榮子△岡本紫子△藤野伊久△矢尾君

△久山發野△小谷富惠△楠榮△高原すゑの△磯島きよの△高原ふせ△高崎ふきの△沼梅代△蜂谷小虎△高原まつ△木村鄕△高原淺野△安田もと△淺島淺野△松本榮子△淺沼壽△三村春△安田海よ△高崎梅野△高原春△光岡小松△岡崎竹野△松村芳子△今喜代野△金島千代△行森昌子△佐藤すゑ△山上秀野△花房榮△人見秀代△佐藤ゑい△佐野小花△淺沼まさ△重實いと△河田夢代△河田かめ△齋藤小侍△片山梅野△今靜江△渡邊菊野△江口喜代△尾高靜造△安田辰造△澤村國△高橋伊平治△佐藤ふさ△藤定こみの△今井つる△今光野△太田のぶ△和氣清△今梅野△保崎ふさ△今のぶ△讃常もと△久山一乃△湯淺鶴代△立川こみ代△岡本定吉△中谷かるの△湯淺槇野△柴田鹿外一人△目黑萩△伍賀ふづ外一人△濱小太郎外一人△三谷ため△石井ちよの△伍賀ちか外一人△中部有恵次△湯淺案子△坪田鹿久野△伍賀なか△濱口さよ△中冬末△伍賀ちよ△濱田太郎外一人△立川ゑい△石原枕野外一人△湯淺きし△安井五八△中谷小虎△立川ちよ△濱口實△岡征次△岡崎し斗△竹原みつ△丸井金次郎外二人△濱松太郎外四人△湯淺良次郎△吉田治吉△西崎富吉△立川しげの△北部有志者△竹原久代△湯淺りよ△石田小虎外一人△南部有志者△目黑百三郎外四人△吉田磯次郎△田淵いせの△三谷さみ△長濱園△今田靜子△中山すが△松崎淺信子△久本幸吉△吉田いゑ△岡久子△加納なみ△湯岩子△目黑るい△吉田かれよ△目黑龜三外三人△濱口新田有志者△橋本米野△西崎こし△岡本はな△濱口矢部さん△中谷ひさ△倉橋梶△矢部小津よ△岡崎まつの△岸本貞△串出みか△安井はるの△柴田きし△松尾いく△鶴△寺尾留子△今梅路△小泉房△永原仁造△今てい子△今みき子△佐々木せい△安井龜△岡政△山名菊子△行森品代△田中たけ△山口壽子△山崎信歌△日下部靜子△長政ゑな△守尾賀壇△今ことら△片岡こまき△岡崎壽△中村靜子△岩崎鶴△小林みつ△島村市外九人△鹽見石野△吉田小久△大野品子△遠谷かよ△鹽見なつ△安田八二△今仙子△長谷川濱△大野仲野△守谷芳野△藤原全興△森岩△草信鷹野△岡きしの△河合德吉△中西益子△角石喧治△高田仲△中桐てる△高旗志郎△千田とり△岩津壽子△島津千鶴△小川北佐太郎△荻二東一郎△三宅たつすみ△篠山しも△三宅久満△小林擧△田淵發榮△佐藤しかの△松田もよ△堀川里武△兒山常△楠原房子△佐々木こま△鹽谷きん△磯部出得△中山伊曾△水野榮子△山根いせ△堀菊野△小林さい△兒山しま△清水つた△筒井廣與△山本ときの△野田みわの△山下浮野△山根高野△柴田ちさ△兒山鶴野△山根りか△清水朝野△坂俊△山本みか△濱川松△武田とり△山口一枝△堀川仲△山崎攀△廣田なかよ△兒山貞三野小高△大森清一△片山すみ△岡部鹿野△志摩増子△新見つ代△鴨井もと△味野斐次郎△田淵まき△永島みか△武内つる△頴武壽子△岡部すゑの△藤田龜△岡部松野△岡部はつ△松本いせの△和田ひさ△中川此子△石津男子△水田古蝶△小川しげの△中桐つな△渡邊知水△岩知邊たけ△藤原鶴子△鴨井民造△大森龜吉△志摩駒△田中久△今のゑ△片八山重の△岩知邊光三郎△田中ひで△柵田秀△鴨井鶴一△日下部快親△石井梅乃△篠山津根△篠山てる△内山つる△松本春野△田邊初香△篠山とま△森とら△三宅昌子△大森宇次郎△赤星光子△高鶴淑子△水内峰△小川武野△岡野靜子△篠山吉野△藤原竹野△千田小里△吉田かた△篠千鶴△鴨井正雄△岡野要一△内田唐太△佐藤千賀△岩知邊歌△古左野千代△堀芳△岡部龜△小川和夫△大倉よしの△隅友正太郎△鎌田春光代△川喜助△小面芳△増井金蔵△加陽春子△増井春子△柳井治宇△吉川理七△佐藤均△大森久代△中田龜平△赤城操△松本吉野外一人△宇野經晃△岡壽子△野田きよ△吉森發枝△中川磯野△伊丹伊志△竹原玉子△赤枝伊智△瀬賀龜△羽原愛△鎌田きん△中野鶴子△大浦桃江△岡部とめ△藤田しか△林文子△波満子△松井い子△岡たか子△三宅みつ△今玉枝△小野壽野△今きよ△林延年子△坪井壽賀子△渡邊△今つの△數田さい△早瀬さと△今みの△中原千枝△武鍋榮△山名すみ△佐々木菊惠△大野千里△松井綠△小野和△今すゐ△田島松△藤田金△同倉△杉岡はる△同順△金澤いち△吉田とよ△大西かし△澤井さく△小堀清△池上たつ△大曾政子△難波學△家本吟△西村清子△家本種△西村政子△難波春子△川上きく子△森下壽榮△畦田やちよ△兒玉まん△生田澄治づよ△南條まつ△瀬尾政代△西村さだ子△山田隆子△室うた△高杉かめ△畦田靜代△大月すま△古林か△赤木石△小林つち△小林富賀野△日高みかの△長田むら△山下じう△黒田みれ△森木おき△長田すみ△谷とめ△中島陽子△加藤濰野△岡ちとせ△近藤じう△森川朝子△伊吹榮志△塘原ため△村上松△河原久△近澤鶴△同靜△堀常子△谷きち江△平野つる△村山登一郎△宮岡しげの△神波飛野△西原靜代△長谷川きん△平松品子△前田嘉與子△森川かな子外一人△田村駒△河田政子△片岡初△河田飛野△片尾松野△田村役場員△七居淑代外二人△廣島敏△赤坂久平△久田村愛國婦人會員△香口美村愛國婦人會員△木村横野外三人△藤田うめの外三人△小山其四郎△谷口正子△杉山くま△杉山ちず△内田たか△岩原と△辻みよ△穂永松野外一人△太田益代△太田花△吉延ゆき外一人△政狩虎子△關みつの△儀谷文代△川井芳野△岡崎エイ△無名子

二　武田小豐△岡本浪△山陽新報編輯局△林柳子△佐倉幸△花田政子△久城幸子△淺羽武一△枝龍角治△横山八十子△山形喜末子△石本仲子△中村政子△日置勝△桑邱ます子△高崎春△石原とめ子△光岡下枝子△兒玉八頭子△女子師範第三寄宿舍生徒△佐野寅子△野上靜子△新庄隆子△石井君の△高林古登△野々山錦子△光藤壽田子△山本久市△今井新△吉田千代乃△横田由賀△河田榮△小山鐵野△岡タネ△岡崎壽代△同稲△秋田梅代△黑住ひさ△同つま△同はまよの△同豐△同金△同すゑ△同喜久野△石富川しよの△同豐△同金△同すゑ△同喜久野△石原小峰△久山虎△日下部亞△大森文子△兒山虎△岡小鶴△野本今野△堀川大野△藤原松惠△山根照子△伊丹京△山根よし△國島花△松原峰子△赤木美兒山うた△清水伊曾△西坂紫子△山根美加△木村隆△岡田種△大橋かよ△植田ナ八子△瀬尾摂△大橋すゑ子△古澤ます子△木山光子△土屋常子△小松原かめ子△大橋朝乃△原卯野△吳谷部濱子△早瀬茂野△柳井榮子△荘しま△平城奈這△太田恒△泉村小學校職員△田村役場員△安東津ま子△清水せい

三　關入重子△宮田眞△西澤愛子△高原呉服店△石木屋子△河中武子△赤木峰子△丸山仲子△野上入重子△智芳子△清水床子△小若榮有△小若小文△古都村愛國婦人會員△峰尾鶴乃△六條院村小學校△草加梅子△柳井じゆん△土居村女學校生徒一同

四　中野民△岡山市佐藤銃鍵學校△鴨井里加

五　谷口美代子△杉山喜代子△小串村在郷軍人團

一〇　總社町小學校生徒中△船穂村小學校

一五　總社町實科女學校松柏會

三一　臨田村第二小學校生徒中

△山口支部▽

金額　氏名

五円〇〇　岡龜子

三・〇〇　渡邊留以子

二・〇〇　村山ツル子

一・〇〇　藤富ツナ子△堀江喜佐△澤原幸尾△生田カメ子△毛利鉦子△毛利庸子△野村アサ子△河野ハル子△宣岡ナツ子△大賀テル子△河村キク子△内田歌子△富田カツ子△桝谷磯子△簗瀬トク子△佐伯五久子△藤本ミツ子△島山タメ子△佐藤志ゲ子△曾我イト子△小田切モト子

・七〇　河島レツ子△平田マサ子

・六〇　阿武郡幹事部

・五〇　八木シゲ子△吉敷郡綜錢司在郷軍人團△松浦竹野△藤井モト子△弘中良直△豐田フミ△浦學子△水田ヤス△小林フイ△松山ハル△弘津フサ△小野本ヒサ△桜取美和子△玖珂郡高森愛國婦人會員中△河崎シロウ△國田ツル△中島シキ△澁谷ハル△波多野靜子△大野ツネ△水谷シメ△松浦タネ△赤松ヤス子△木村サホ△廣野スエ△今田タツ△濱田モト△畑クマ△森本ヒサ△井本マサ△竹井ユカ△豐田ヨシ△鶴本イチ△岡田千代△濱盛ヨネ△楢本リア△和田ナナ△吉岡ミチ△吉岡マツノ△清水ツルエ△宮本ミツ△淺海コト△遊森ユリ△二村フサ子△古藤マキ子△佐田小登△板阪志子△北島留尾子△船橋德咲子△山田ミツ子△赤川ツナ子△小監シヅ子△山根多満子

・四五　貴志タキ

・四〇　豐田喜三△宮木チカ

・三〇　伊佐ミネ△金田サク△吉田ミツ△酒井ツノ△金田セイ△楢田稔子△中村マス△山本ヒサ△倉重マサ△藤勝トモ△田邊タツ△藤井キヨ△佐々部クメ△石田シズ△仲本シツ△野村トモ△淺田キヨ△江田タカ△中村マス△礒部善△中原ミノ△森田富子△今順榮子△山本スエ△江上マキ△本田イト△關口ミネ△山本ユキ△佐甲チヨ△金家エイ△池田ユリ△竹内ソノ△柳井ハル△大石ナチ△山口トセ△瀧原タツ△吉田テイ△宮川セン△田村セン△林フミ△廣野ウメ△島村ツネ△金子カネ△稲毛トラ△川崎キヌ△森脇トモ△御宮フサ△島川藤△中丸ヨシ△菊谷ツネ△山中マサ△早野モト△龜川タツイ△西部於蜂△安部キス△篠川リフ△中島シゲ△入江トヨ△飯田コウメ△系賀ツナ△道原イト△吉田フミ△辻タキ△槇セイ△

・二五　森屋タマ△今モト△生田コマ△櫻井サダ△鶴永チカ△井上カメヨ△柳井マサ△井上ナナ△栗栖クリ△平田シゲ△阿部マス△三澤イワ△來村ハツ△山田クエ△堀江チカ△今アヤ子

・二〇　藤井チエ△森ハル△角井ブロ△駒田リウ△友田キチ△山本トヨ△坂本ワサ△作間俊一△藤永ヅイ一△天野シム△村上マサ△岡本久満△吉見智惠△田村ミネ△三好チヤウ△小川ウメ△中島ミツ△江田靜△吉武タク△山内タキ△吉武ウメ△磯部ヨシ△伯野ウラ△佐川タカ△國安シカ△栗屋イソヤ△中司シゲ△靑木マス△品川スミ△鬼武ミチ△弘中ナチ△杉村シカ△津留田正喜△藤井イク△廣岡末子△石川アイ△岡川織之△米光ツネ△木村クメ△本城トメ△岡田ユリ△岩本カツ△田村キリ△弘中モミ△内藤都留子△山本トモ△弘中カネ△有馬八重△河村シカ△賀谷ウメカ△廣野トキ△西村シマ△立野マン△廣澄ヒサノ△林アツ△臨田ヨシ△鯨田ナカ△石田チエ△久山

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ミツ△野澤ミス△三浦ツネ△土田トモ△西村ウラ△近藤ツザ△上原チヨ△矢野リツ△仝秀子△小川イサ△岡田ケフ△福田キクノ△藤井イト△戸村チヨ△岡藤タレ△伊木ミチ△河邊ミネ△山岡カネ△河野シマ△中村キヨコ△上田ハナ△藤田八重△原テル△堀木ヒサ△金井コト△若戎千代△島田トヨ△中尾ヨソノ△網谷キク△佐瀨トヨ△向井富士△竹内サト△仝サダ△野口トリ△辰野モト△遠藤常子△傍島シツ子△國吉カツ△上案先子△伊藤ルイ△小林ユリ△加藤ウメ△神田ノブ△京極ハル△新田良子△爪生カツ△杉山トラ△仝タネ△武永ヨノ△西原ヒサ△中島ハル子△藤岡チドリ△仝タマ子△瀨川エイ△吉岡マツヨ△仝マサ子△森テフ△木村タケ△岡本タキヨ△川崎タイ△鳥谷キク△森マス△福岡ツル△三輪キク△楢野ツネ△秋吉マス△加來シゲ△中野タイ△大野マサ子△楓山トシ△大倉文世△持田アサ△伊藤スエ△藤井エイ△仝ツル△長本ミサ△豐永イシ△楢沼マチ△富成カツ△大田チヨ△善谷ハル△中村ヒデ△縄田ウメ△入原テル△岩本チエ△木庭トミ△西谷キミ△市川シゲ△竹中宗一△田村ウメ△小方淨一

●一五　弘重イヨ△菊谷ミツヨ△森脇ヤスコ△味村庄右衞門△仝ミヨ△益本イソ△山本ミス△新本イワ△中村ロセ△上野傳△小林圓造△中尾フサ△河田ナナ△大谷ウタ△國行ヒサ△小田シカ△曾田由△山部マツ△藤村フサ△藤本キクカ△杉原寧子△大田イク△財満ウチヨ△世耳マツ△岩政柳竹△仝リキ△坪井キタノ△津田マツ△中原タフベ△大野タカ△白井イク△杉本タキ△嚴重マサ△仝キク△谷ロシ△中島ケウ△植田マツ△福谷ロシ△仝タケ△長沼タネ△福田ユキ△田中シン△渡イチ△中原鑑△有田カメ△高瀨クラ△吉谷ロシ△辰野イシ△勝原トモ△三浦ツル△桑原ハル△仝フサ△福田ハツ△岡村ツル△福田タン△藤井英子△永久八千代△中西クラ△旭トセ△高田タツ△不二村龍△八木ヨシ△横沼マチ△宮重ソメ△國弘ミサ△藤井トモ△杉山タツ△竹田キヨ△仲サヨ△若林ミチ△福岡サツ△楢尾ユキ△正村セイ△木村セツ△篠原ヒデ△池永ロシ△黒川タケ△高橋英子△須子靜子

●一二　安豫キヌ△仝イツ△石田リカ△仝シエ△河島シゲ

●一〇　鈴木ヨシコ△世良ハツ△前田ミツ△神エイ△小方幸子△山崎タシ△柴田ウタ△伊藤ウタ△佐々木イソ△阿川シゲ△藤田シゲ△小田コト△茂刈ツル△村橋キク△益田壽子△小河コウ△阿武満壽代△長谷川ナツ△岡本向倖△湯原登次郎△松井常吉△森田豐吉△水津寅藏△安野京太郎△金山喜太郎△下瀨忠市△益田濟△山田正路△板垣忠三郎△岡田興三△益成敏熊△瀨英輔△笠井チヨ△仝トヨ△狩生信子△上野ナチ△河口ナミ△戸川トラ△渡邊シゲ△平田マチ△渡邊ハル△西千代△小池光子△熊谷石子△藤井常子△吉岡ツネ△米澤スミ△米原トメ△林美雄△羽村キヌ△戸村ヤス△吉田トセ△桑原ノブ△三井スミ△下瀨ヨシノ△前田精子△鹽川フサ△町田タメ△原セツ△阿川フサ△大熊チヨ△内藤サヨ△栗栖ツチ△勝部カメ△神原眞子△高山常子△杉山久子△内藤マサ△西本ツル△梅田ツキ△河野アデ△古見キヨ△河北クリ△木村キヨ△奥平タキ△國司リエ△北村富榮△時田桃太郎△仝ヒデ△木村エセ△仝ハル△爺永ハヤ△坂本ミチ△藤本マツ△三宅ヒサ△植田鐵輔△仝トナ△富田テル△樋口秋之助△樋口キワ△西島タカ△木本ヒサ△西尾文吉△仝トラ△安光俊三△仝マス△岡田雄吉△遠藤愛太郎△磯部太作△伊藤武二△伊村

雅重△仝コト△佐伯キム△松井唯輔△守田利三郎△竹田カメ△三島虜助△仝カツ△吉田威一△仝八重△松原コマ△佐向吉△吉田タメ△中案塾△品川榮賀代△加藤ミツ△尾上ミヨ△鷹島ミネ△竹村ナツ△山本ヤス△小野ナツ△久繩スミ△林コウ△原田八重△田中カネ△渡邊マサ△畠飼ウメ△中野ミム△久保田タマ△林シマ△原田イワ△山本チヨ△相本ウサ△三輪瀨子△吉村ナチ△坂本フミ△宍戸壽△河内イマ△守田ヤス△中島エイ△吉松クニ△清水ナホ△川口スミ△大村賀芽壽久△林モト△尾中クメ△松村トラ△林トヨ△山本シゲ△河野ツネ△宇多田リヨウ△池田イワ△田中キクノ△太田トモ△船越雨世△林マキ△田村キヨコ△豐田ユキ△關谷トク△前田シゲ△木村靜△武重キクノ△飯田ハキエ△眞鍋久子△小田サキ△佐々木ナナ△徑尾ノブ△中尾ミネ△伊藤クマ△西田ヒサ△村谷サク△古谷ツネ△細迫トモ△枝村シゲ△野村マサ△國喜イツ△岡村ヤス△松岡アサ△槇野シカ△山田イト△西岡ムメ△奥村ソメ△中原キク△仝テル△不二モヨ△波多野トミ△渡邊ミチ△石津トミ△三田フミ△縄田チエ△爽野トメ△平田タケ△增生カツ△西原エツ△大濱トミ△大田ハツ△佐伯シゲヨ△玉田シツヨ△國弘トシ△竹下フミ△吉田エキ△竹木マス△仝ツルヨ△增野ヒデヨ△藤井マサコ△河野ユキノ△松村ヨネ△河島シナ△弘中タメ△古城ウタ△高松ナチ△安進ユヲ△石田キヨ△仝フミ△仝ヤス△仝シナ△仝シナ△仝タモ△武田タケ△石田ナミ△小技マサ河野タカ△中川ハナ△山根リヨ△淺野スエ△月永熊子△平原タカ△中野良子△前田イシ△益本ハル△百合本モト△木本セツ△山縣イク△宮崎エツ△中島ヒサ△森本キク△永野トミ△足立ムロ△竹内ユリ△豐村トヨ△草壁富吉△久保シヅ△松永ナツ△高橋ツタ△藤岡クラ△深田ユキ△上村リウ△篠井ヒサ△内山アウ△山本マス△三井トキ△村田マス△中丸トヨ△松岡ヒナ

△山口支部其二▽

金額	氏名
二円・九四	岩國町愛國婦人會員拾五名
二・一〇	毛利顯子仝茂登子△伊藤ミドリ子
一・八〇	毛利百合子
一・五〇	貞永ミチヨ子
一・四二	中野ムツ子
一・二五	藤津コウ
一・一一	林　雪子
一・一〇	渡ミチ子
一・〇二	石川富久子
一・〇〇	木梨タツ子△和久井豐子
・九七	難賀節子
・九〇	吉敷郡仁保村愛國婦人會員中△
・七四	木原タカ子
・七一	有富カネ子
・六六五	秋山エイ子
・六五	大久保アヤ子
・六〇	吉敷郡小鯖村愛國婦人會員
・六〇	吉敷郡大内村愛國婦人會員
・六〇	中村カノ
・五九	藤村恒子
・五八	中野ミチ子△總賀須磨子△加藤ミネ△
・五五	小柳トミ子△安部イチ△
・五四	時政ムメ
・五二	國佐春子
・五〇	吉敷郡平川村愛國婦人會員

●五〇　西村トラ△榮圖マス△阿武貞子△中本マチ△刀禰ヨネ△鹿島カネ
●四七五　多賀谷ユク△山根セツ△仝マチ△
●四五　藤本彌兵衞
●四四　辻岡龜子
●四三　財満ナオ
●四二　石川富久子△重本フイ
●四一　藤居梅子
●四〇　原タニ△高田ツル△重枝イト外二名
●三七五　青木清子
●三六　谷　ミドリ
●三五　原田イッノ△原田マツ外四名△岡田タネ外三名△高野政枝△田原ヒデ△萬代イネ△麻生榮代△佐々木フウ
●三四　吉本サツ△吉村イマ
●三二　尾中安子
●三〇　桑原モト△中島フウ△長井トク△桑原ヒサ△長井ヒデ△吉敷郡仝村愛國婦人會員中△吉富千代△仝トヨ△中村クマ△古谷キク外三名△道中テウ外二名△山尾タケ△仝ミネ△右田タツ△私立豊咲女園
●二五　高崎花丸△藤生マツ△河野トヨ△戸坂キシ△三月イシ△藤本マス△山中フミ△西村タネ△野村マツ△小林ミヨシ△小方千代△小河ヒサ△大草ヨシ
●二一　村田光尾△宮本マス
●二〇　秋田チサ△武田壽子△岡本美登△藤江竜五郎△三分一アカ
●一七　河崎ヒサ△松田ツネ△山崎ツタ△章田ヨウ△鳥野瀧△廣田ヨシノ△田邊ミノ△内藤チヨ△田中チヲ△仝タネ△仝フモ△仝ウラ△矢田トリ△野村ミカ△山邊フウ△田邊チヨウ△山本ナチ△長谷ミヨ△石林緝子
●一六　片桐ナツノ
●一五　長峰ヨシノ△田中エカ
●一〇　今井タキコ△森永奥女△縄重チヨ△安田チハル

同上慰問袋の部

個數　氏　名

一　栗屋竹子△立水千枝子△藤川カツ△横島キヨ△林ヨシ△阿武タネ△深川女子實業補習學校△熊野ナツ△林谷ハナ△齋藤ユク△新庄フウ△齋藤フサ△田原ハツホ△水卆ユキ山本倫三△三好キクエ△林モト△原田春子△遠崎ヤス△仝梅子△松尾久子△福田キヨ△島田マサ△松尾千代子△福田カツ△濃園トク△松尾照子△安井良子△仝鉦子△土井八重野△仝輝子△古谷歌子△土井藤子△原田文子△上村マサ△原田トフノ△清瀨諦念△福田今子△有光梅子△原田サト△岡田ハツ△主師シゲ△土井君代△南キク△岡田貞雄△仝マサ△土井セン△主師キク△岡田ツネ△土岐マサ△松本千代子△井上ヤエ△岡田ヒサ△宮本レイ△福島シゲ△安井久子△清水千代△活田ミツ△村田トミ△花房男子△島田トミ△加藤ヒサ△立花ハナ△島田タメ△長沼ユリ△中野キヌ△林キク△澤イチ△安田喜一△奥野ハナ△貝塚トヨ△淺井美香△武久キミムメ△德光祐一△島田ヤス△柳井春鐡△折茂ケイ△田中神田狄一△仝末子△近江エイ△福永テフ△增津アサ△南部タカ△松尾以輔△仝隆子△熊野サト△南熊千代△仝トミ△吉永カメ△南部サタ△齋藤鶴△久保田カネ△武田男夫△南部チヨ△豐田久子△山田ヤエ△佐々木茂子△本保仲藏△松崎濟市△米木佐一郎△平野百合松△吉富ウメノ△飯田良一△山本孫介△森崎タヨ△植松ヒナ子△小林松三郎△國野勝藏△森崎トヨ△山藏ツル△楢植ツル△中野ツル△武藏富士子△河内セイ△稲田ムメ△原野壽介△狄吉淺吉△山名網藏△嘉屋ノブ子△武藏スエ△小飯治金藏△中本丑之助△二宮愛治郎△和田德太郎△柄永民松△石井タツ△山本治作△足立傳吉△楢野梅吉△筑島ツル△植松ヒナ子△内山萬次郎△玉澤多三郎△加茂二雄△篠原金藏△豐原乙雄△磯部ヒサ△本田幸一△富士ツネ△關千代△松本アル△友井ツネ△宇田千之助△古室芳造△関谷歌子△近江アル△國清國五郎△田村辰造△横中ツル△山形松太郎△廣瀨豐次郎△大島ナミ△關谷ナチ△植木谷峰子△山形喜八△藤原利三郎△稲田キヨ△坂本シゲ△藤原德三郎△柳スミ△吉永富士外二名△井ノ口福藏△岡田源市△藤井正一△油谷アサ子△大林善子

二　古谷満壽子△唐津芳子△大崎レン△船津菊子△船井リク△城クニ△竹下ヨネ△久保田サヨ△佐枝タツ△播磨福藏△秋山久子△吉田新藏△岡澤イチ△山名コウ△梶本藤吉△關谷イワ△久賀トク△毛利市兵衞△末廣中次△未次鶴子△增田多左衞門

三　福田タカ外十一名△中野ムツ

△函館支部▽

金額	氏名
一・〇〇	永野鎌之助

同上慰問袋の部

個數　氏　名

一　内田重子△逸見ミヨ△堀川都子△坂井ツカ△圖領セイ△片岡初榮△桐塚ムメ△福田トメ△守井シン△渡邊貞子△山本志津生△榊八重△逸見タネ△秦アサ△西澤トミ△高西ツル△新田八重△仝ルイ△宮内ノブ△墓原トミ△牧野セイ△二階堂多賀子△鈴木壽子△阿部トリ△林カヨ△種田ナチ△夏井幸子△佐藤タツ△山口ヨキ△池田イク△吉川ヨネ△刈谷ハナ△横井タマ△大山マキ△舘タマ子△岡弓子△宮崎ミヤ△圖領キク△伊東ヤス△貝塚福子△武藤千代子

二　山田武子△一瀨スミ△手塚トマ△姉牛子△北守ツネ△三坂都留子△岩鼻キク△杉村チム△齋藤トヨ△池上ツネ△羽佐間ハナ△平田キヨ△品川鶴元子△高橋イチ△大條ナカ△廣谷カツ△鳥居仲子△松山サト△高取藤子△瀧野スエ△齋藤雅子△大澤チヨ△小林サダ△池田賀壽子

三　原宜シゲ△守井モト

一　逸見テイ△仝エイ△水野ヒサ△古林キク△横濱ミキ△藤倉イト△藤野イチ△山崎クマ△西澤ミチ△荒木ユキ△仝フア△植月萬知△芥原ムメ△圖領ノニ△淺野イト

△佐賀支部▽

金額	氏名
三円・六六〇	佐賀郡
一・五〇〇	神崎郡
四・四〇〇	三養基郡
八・四〇〇	東松浦郡
一・五〇〇	西松浦郡
六・〇七〇	杵島郡
三・六三〇	藤津郡
一・八〇〇	佐賀市

●五〇　柳田綾子
●三〇　田原テル△坂口タネ△古川カツ△高取レナ△福地モン△大島コマ△古市キン△矢田キヨ△友田スマ△池田ギン△奥村ナヽチ△草場アイ△岸川コチ△松代イケ△麻生ギン
●二〇　川副セツ△諸岡ハツ△牛島ハル△江副タメ△鍋崎ムネ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會各支部職員佩有功章者小肖

佩二等有功章靜岡支部評議員
長谷川千瀬子

佩一等有功章靜岡支部會員
岡木八千子

佩一等有功特別徽章靜岡支部長
李家貫實子

靜岡支部副長
小島登喜子

佩二等有功章靜岡支部幹事
依田小苗子

佩三等有功章三重支部幹事
御巫富士子

佩三等有功章群馬支部會員
佐島ケム子

佩三等有功章群馬支部會員
山口さと子

佩三等有功章群馬支部會員
上原きな子

佩三等有功章三重支部宇治山田幹事部幹事
齊藤欧子

明治四十一年十一月廿日（毎月二回五日廿日）發行　明治廿五年三月廿七日（第三種郵便物認可）

發行兼印刷人山澤俊夫　編輯人永持德一　發行所　愛國婦人會内愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN